

鹿児島大学 平成 28(2016)年度 共通教育
英語教育活動報告書

鹿児島大学 総合教育機構

共通教育センター

外国語教育部門 (既修語系)

目次

序	1
I. 平成 28 (2016) 年度 英語外部試験 GTEC CTE 実施について	2
A. 平成 28 (2016) 年度の GTEC CTE の実施状況について	2
A-1. GTEC CTE の実施概要	2
A-2. 平成 28 (2016) 年度 GTEC CTE の成績推移	2
A-3. GTEC CTE に係る今後の課題	4
B. 英語アチーブメントテスト表彰制度とその運用状況について	6
B-1. 鹿児島大学教育センター英語アチーブメントテスト表彰制度	6
B-2. 平成 28 (2016) 年度の英語アチーブメントテストに係る表彰実施体制	6
B-3. 表彰制度に係る今後の課題	11
C. 学生によるアンケート結果について	13
C-1. CEFR・Jに基づくアンケート	13
C-2. アンケート結果とまとめ	18
C-3. 学生によるアンケート結果に係る今後の課題	41
II. 平成 28 (2016) 年度ワークショップについて	44
A. 平成 28 (2016) 年度第 1 回 英語 I A・英語 I B ワークショップ	44
B. 平成 28 (2016) 年度第 2 回 教員ワークショップ	45
C. ワークショップに係る今後の課題	46
III. 結語	47
謝辞	48
巻末データ	49

序

本報告書は、平成 28（2016）年度から鹿児島大学で施行された新しい共通教育改革における外国語教育、とりわけ英語の取組みについて、その概況と今後の課題についてまとめている。

改革の方向性と枠組みについては、当時の共通教育英語ワーキンググループが刊行した『共通教育英語のリ・デザイン化ーカリキュラムの実質化と英語授業の系統性ー』（2016）に詳述されている。本報告書は、その 1 年目にあたる平成 28（2016）年度の取組みを記述している。国際基準に適った英語外部試験のひとつである GTEC CTE（Global Test of English Communication College Test Edition）を運用し始めた概況、その成績結果を用いた表彰制度、試験終了直後に実施したアンケート結果、そして、外国語教育に関わる教員 FD（平成 28 年度ワークショップ）を主要な柱とし、1 年目の取組みから見えてきた課題について考察を加えている。

ご高覧のうえ、忌憚なきご意見やご助言を乞う次第である。

I. 平成 28 (2016) 年度 GTEC CTE の実施について

A. 平成 28 (2016) 年度 GTEC CTE の実施状況について

A-1. GTEC CTE の実施概要

本学では平成 28 (2016) 年度から各学期の第 10 週前後に、GTEC CTE (Global Test of English Communication College Test Edition) を実施している。これはパソコンを利用したオンラインテストで、受験者のリスニングとリーディングの 2 つの技能が多面的に測定される。各学期の試験結果は、受験者が当該学期に履修する共通教育英語科目で、成績評価の 20%として反映される。平成 28 (2016) 年度は、資料 1 に示した日程で実施した。

資料 1 平成 28 (2016) 年度 GTEC CTE の実施概要

学期	前期	後期
実施期間	6月14日(火)～7月13日(水)	12月12日(月)～1月11日(水)
受験対象者 (実受験者数)	1年次開講の共通教育英語科目 履修者(2066名)	1年次開講の共通教育英語科目 履修者(1790名)

平成 28 (2016) 年度の本学での GTEC CTE は、1 年次に開講される共通教育英語科目履修者全員を受験対象とし、これらの授業時間中に各担当教員に実施を依頼して行っている。試験実施に際し、病気などの理由で受験できなかった学生への対策として、2 日間の予備日も確保した。

資料 1 の受験者数を見ると、後期での受験者数が 276 人減少している。これは、本学の技能審査(外国語技能検定試験)合格者等の単位認定制度を利用して、英検や TOEIC などの資格や成績を取得し、後期に英語科目を履修せずに単位認定を申請する学生が増えるためと思われる。

A-2 平成 28 (2016) 年度 GTEC CTE の成績推移

平成 28 (2016) 年前期と後期ともに GTEC CTE を受験した 1171 名のデータ(資料 1)をもとに、成績推移を確認した(資料 2, 3)。

まず、合計点の全学平均は前後期とも 220 前後で、CEFR A2 レベルとなっている(資料 4)。また、後期では前期よりも点数がやや下降している。また、技能別に見ると、後期では Listening が低下し、Reading が若干上昇する傾向が見られる。これらの点について、今後は有意差の検証などを行い、次節でも指摘されているように新カリキュラムと GTEC CTE の内容が対応しているかなど、成績推移の要因についても確認する必要があると思われる。

また、今回の GTEC CTE での成績推移は、これまで本学で実施してきた G-TELP (レベル 3) での成績推移とは異なる傾向が見られる。G-TELP では、合計点が後期では前期よりも上昇し、技能別では Listening が上昇し、Reading が若干低下していた。この点についても、今後の推移も見ながら確認したい。

今後も基礎データを積み重ね、明らかになった課題をひとつひとつ検証し、その結果を、例えば共通教育英語科目の各授業の指導で活かせるように提示し、それが最終的に学生の英語力の向上につながっていく、というように、GTEC CTE をより体系的な仕組みの中で活用できるようにしたい。

資料2 平成28(2016)年度GTEC CTEの受験者数(前期・後期ともに受験した学生のみを抽出)

学部学科	受験者数 (人)
全学	1711
医学部(2学科計)	117
医学科	31
保健学科	86
共同獣医学部	30
教育学部	273
工学部	445
歯学部	18
水産学部	131
農学部	190
法文学部	336
理学部	171

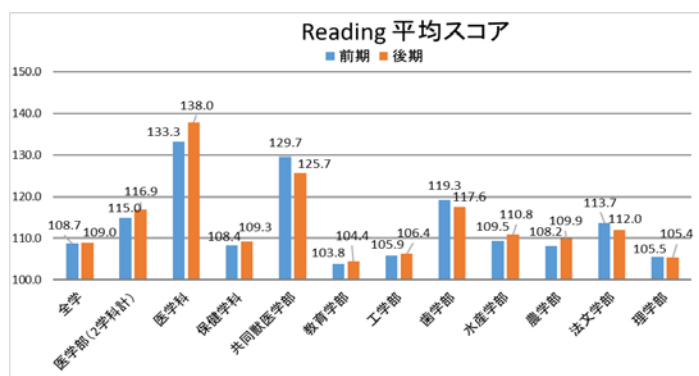
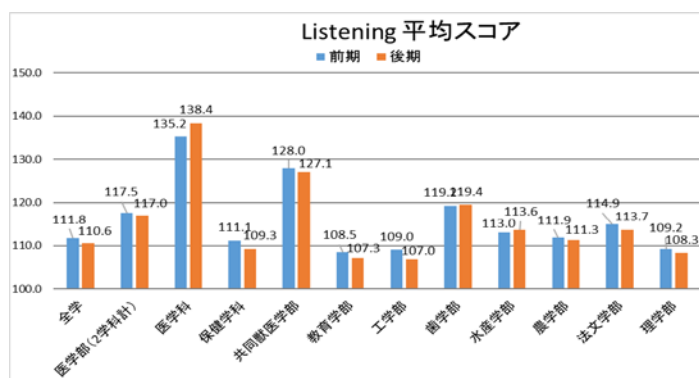
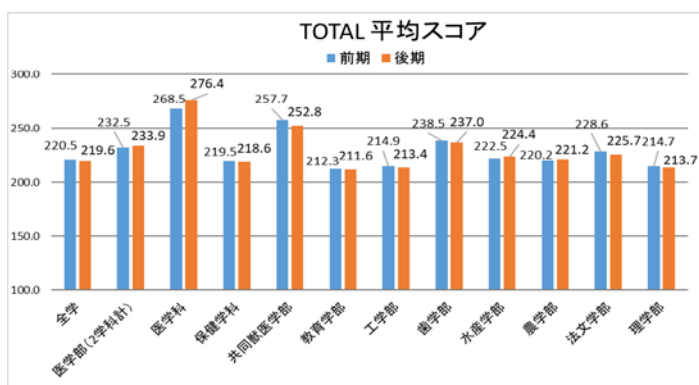
Benesse i-Career 作成

資料3 2016年度GTEC CTEの成績推移(1)

平均点	TOTAL			Listening			Reading		
	前期	後期	差異	前期	後期	差異	前期	後期	差異
全学	220.5	219.6	-0.9	111.8	110.6	-1.1	108.7	109.0	0.2
医学部(2学科計)	232.5	233.9	1.5	117.5	117.0	-0.5	115.0	116.9	2.0
医学科	268.5	276.4	7.9	135.2	138.4	3.2	133.3	138.0	4.7
保健学科	219.5	218.6	-0.9	111.1	109.3	-1.8	108.4	109.3	1.0
共同獣医学部	257.7	252.8	-4.9	128.0	127.1	-0.9	129.7	125.7	-4.0
教育学部	212.3	211.6	-0.6	108.5	107.3	-1.2	103.8	104.4	0.6
工学部	214.9	213.4	-1.5	109.0	107.0	-2.1	105.9	106.4	0.5
歯学部	238.5	237.0	-1.5	119.2	119.4	0.3	119.3	117.6	-1.8
水産学部	222.5	224.4	1.8	113.0	113.6	0.5	109.5	110.8	1.3
農学部	220.2	221.2	1.0	111.9	111.3	-0.7	108.2	109.9	1.6
法文学部	228.6	225.7	-2.9	114.9	113.7	-1.2	113.7	112.0	-1.6
理学部	214.7	213.7	-0.9	109.2	108.3	-0.9	105.5	105.4	-0.1

Benesse i-Career 作成

資料4 2016年度 GTEC CTE の成績推移 (2)



(Benesse i-Career 作成)

資料5 GTEC CTE と CEFR の対応表

CEFR	Listening+ Reading	Listening	Reading
C2	460	240	220
C1	400	200	200
B2	330	180	150
B1	270	140	130
A2	190	100	90

A-3 GTEC CTEに係る今後の課題

平成 28 (2016) 年度の GTEC CTE 結果について、後期の成績が若干下がったのは好ましくない情報でもあるが、英語教員として経験から言うとよくある結果になっている。また、ベネッセ i-キャリアに聞いたところ、業者としてもよく見る結果だという。しかし、よくある結果とは言え、楽観視してはいけない。前期・後期の成績推移結果に関して重く受け止めるべきである。他大学にも同じような悩みがあるが、このまま仕方なく認めるべきではない。これからどのような改善策が組めるか議論すべきである。しかし、今からすぐできるのは、去年から導入した新カリキュラムを調整し、より良いものにする。また、平成 29 (2017) 年 10 月からパイロットとして導入する外国語サロンを充実させる。学生の英語力を伸ばすために、英語教育の中では質と量の両方の向上が求められる。

とは言っても、学生の GTEC CTE スコアを上げるためだけのものとして考えない方がよい。GTEC CTE に重点を置く傾向には懸念の声が上がっている。例えば、学生は英語 I B にライティング、英語 I I B にプレゼンテーションを習っているが、このような大切なスキルは GTEC CTE では測れない。また、新カリキュラムにはリスニングがあまり重視されていない事実があるが、GTEC CTE にはリスニングの部分がある。長期的な課題かもしれないが、GTEC CTE と鹿児島大学のカリキュラムがマッチしているかどうか考える必要がある。

また、試験を受けている本学の学生の立場から考えれば、GTEC CTE はどのようなものになっているか、関心を向けるべきである。例えば、受験して難しいと考えていたか、学習意欲が変わったか、という点が気になる。試験が難しいと感じて、学習意欲が下がったという恐れもあり得る。そもそも GTEC CTE を受けている理由がわからない学生もいる可能性がある。この場合、教員が GTEC CTE を導入した理由を再確認し、学生に伝える必要があると言える。GTEC CTE の試験結果が学生個人の英語のどのレベルに対応するか、説明する責任もある。

もう一つの課題として出てきているのは GTEC CTE と成績の関係である。GTEC CTE を成績の 20%に充てているので、これが妥当かどうか判断する時期が近づいている。また、得点の付け方・計算の仕方について考慮する必要がある。例えば、20 点中 8~12 点しか取れない学生が多いので、学期末の個人成績結果に打撃になっているのではないか、という心配の声が上がっている。学生にとっての GTEC CTE 結果が過度な不利にならないよう、計算の仕方などに関して議論すべき点があると思われる。

この報告書の作成を機に、英語の教員を中心に上記のような課題について議論が始まれば良いと思っている。

B. 英語アチーブメントテスト表彰制度とその運用状況について

B-1. 鹿児島大学教育センター英語アチーブメントテスト表彰制度*

本学では、平成 22 (2010) 年度より教育センターが実施する共通教育科目のうち外国語科目における、学生の英語力判定のための共通実力テスト（以下「英語アチーブメントテスト」という）において、優秀な成績を収めた学生に対する表彰制度を設けている。

その目的は、学生の英語学習動機を高め、より高い英語力を目指そうとする向学心を涵養するための契機として、鹿児島大学における英語教育の質の向上に資するものとする。

表彰の対象は、第 1 年次後期に実施する英語アチーブメントテストにおいて、優秀な成績を収め、次の各号に該当する学生（以下「受賞者」という）に対し、教育センター長が表彰を行う。(1) 各学部の成績最上位者 1 名に対し、優秀賞を授与する。(2) 前期得点と比較して後期得点の向上が顕著と認められる者で、各学部上位者 2 名に対し、努力賞を授与する。優秀賞及び努力賞は、同一の者に対して授与することができる。

受賞者は、教育センター外国語教育推進部会*において選考し、教育センター会議において決定する。なお、優秀賞と努力賞の学生には、表彰状とともに副賞として図書カードが贈呈される。

*「鹿児島大学教育センター」という名称は、文中の「教育センター外国語教育推進部会」と併せて平成 28 (2016) 年度までのもので、平成 29 (2017) 年度より、それぞれ、「鹿児島大学共通教育センター」、「共通教育センター外国語教育部門」と改称。

B-2. 平成 28 (2016) 年度の英語アチーブメントテストに係る表彰実施体制

本学では、平成 22 (2010) 年からこの英語アチーブメントテストの表彰式を実施してきており、平成 28 (2016) 年度からは、共通教育改革の初年度と相俟って、従前の G-TELP に代わり、GTEC CTE を利用することとなった。

平成 28 (2016) 年度の表彰にいたるスケジュールは、あらまし以下のものであった。

- ① GTEC CTE 実施 …平成 28 (2016) 年 6 月 14 日～7 月 13 日 (前期)
(予備日：7 月 7 日 6 限、7 月 15 日 6 限)
平成 28 (2016) 年 12 月 12 日～平成 29 (2017) 年 1 月 11 日
(後期)
(予備日：1 月 5 日 6 限、1 月 11 日 6 限)
- ② 表彰候補者の選出 (GTEC 側から候補者データ受領) … 平成 29 (2017) 年 1 月上旬
- ③ 表彰候補者及び副賞、表彰までの実施体制について部会で審議し、表彰者選出
(第 11 回外国語教育推進部会・会議) …平成 29 (2017) 年 1 月 20 日
- ④ 教育センター会議で審議・決定… 1 月 27 日
- ⑤ 該当の学部及び学生へ通知、賞状の作成 (賞状は教育センターで作成) …29 (2017) 年 2 月 6 日
- ⑥ 表彰 … 平成 29 (2017) 年 2 月 13 日

平成 25 (2013) 年度から、表彰対象の学生にアンケートの依頼をし、その回答内容は学生や教員の参考に資するものとしてきた。質問事項は、「入学前と入学後を比べながら、あなたの英語学習のコツや工夫を教えてください」と「G-TELP の優秀賞、努力賞を受賞することになった感想をお聞かせください」の 2 つである。

これら 2 点の問いに沿って、以下に、平成 28 年度のアンケート結果の回答を学部別、賞別にみている。

資料 6 平成 28 (2016) 年度 英語アチーブメントテスト表彰 受賞者へのアンケート

○対象者：優秀賞 9 名、努力賞 20 名

○回答者：優秀賞 9 名、努力賞 14 名 計 23 名

質問項目

1. 学前と学後を比べながら、あなたの英語学習のコツや工夫をおしえてください。
2. GTEC CTE の優秀賞、努力賞を受賞することになった感想をお聞かせください。

【法文学部・優秀賞】

1. 入学前は授業を受けて、その復習をするといったことを主にしていましたが、大学に入ってから授業以外で P-SEG の英会話に参加したりして実践的に学習しました。
2. 今回優秀賞をいただくことになるとは思っていなかったので、とても驚いています。これからは英語学習を続けていき、さらにレベルアップしていけるように努力したいと思います。

【法文学部・努力賞】

1. 英語の授業のときには集中して聞いていました。授業以外では、ダラダラと勉強することが無いようにしていました。
2. まず、率直にうれしいです。英語が重要になっている今の時代に、その英語の部分が評価されて励みになりました。

【法文学部・努力賞】

1. 授業をちゃんと集中して聞いた。
2. 前回の GTEC の結果が特にヒドかったので、少しでも点数が上がって嬉しいです。

【教育学部・優秀賞】

1. 短い時間で集中して勉強するようになった。
2. 図書カードを使って、英語の勉強に役立てたい。

【理学部・優秀賞】

1. TOEIC の受験を目標にテキストを使って勉強しました。

2. とても驚いています。今後も英語の勉強を頑張りたいと思います。

【理学部・努力賞】

1. もともと英語は得意でなかったため、出された課題をこなしたことだと思います。
2. 前期の点数が良くなかったので、とてもびっくりしました。もっとがんばります。

【理学部・努力賞】

1. 高校まではただ覚えるだけの勉強だったが、大学に入ってから、学んだことを積極的に英語を使うことで、身につけるようにした。
2. 驚きましたが、これからも頑張ろうと思いました。

【医学部・優秀賞】

1. 元々、英語が好きで、自分の英語能力を向上させるために、ネイティブと話す機会を授業でも作っていました。一番大切なのは読めることより、聞ける、話せる事だと思っているので、そこを重点的に学びました。
2. このような賞を頂けることをとても光栄に思います。この賞の受賞を機に、より一層英語学習に取り組み、将来グローバルに活躍できるようになりたいと思います。

【医学部・努力賞】

1. 受験生だった時と比べて勉強時間は減ったが、授業に必ず出席して課題は出されたその日にするなど、英語に触れない期間を長く空けないことが、大切だと思う。
2. 無回答

【医学部・努力賞】

1. 入学前と比べて入学後は、英語学習の時間が少ないので、英語の授業時に英語学習を行う。
2. 嬉しかったです。

【歯学部・優秀賞】

1. TOEIC の点数を単位認定せずに、授業をうけて毎週英語の勉強をしたり、英語に触れる機会を増やした。
2. これからも続けて学習し、将来、役に立てていければと思います。

【歯学部・努力賞】

2名とも欠席（未提出）

【工学部・優秀賞】

1. 受験生の時のように、入試問題ばかりを解くより、大学に入って自分の興味のある分野の英語の文献を読んだりの方が、英語力はよく伸びると実感しました。
2. 受賞できるような成績とは思わなかったので、とても嬉しいです。

【工学部・努力賞】

1. 大学に入学後、専門性を伸ばすため、原書（英語）を読むようにしたため、リーディングのスキルが向上したように感じる。
2. 自身の英語力が客観的に向上したことを評価され、嬉しく思う。

【農学部・優秀賞】

1. 高校時代の英語の力の維持を心がけていましたが、おろそかになっていた部分が多くありました。英語で自分の考えを書くことが多かったので、正しく自分の意見が示せるよう心がけていました。
2. GTEC に関する表彰があることを知らなかったもので、驚いています。英語に関する賞を頂けたことを嬉しく思います。英語の勉強をもっと頑張りたいです。

【農学部・努力賞】

1. 高校にいた頃と違って、文法や単語などを本格的に学ぶことが少なくなったので、単語帳は時々見直していた。
2. いつかは、TOEIC を受けようと思っているので、引き続き頑張りたい。リーディングだけでなくリスニングも出来るようになりたい。

【農学部・努力賞】

1. 私は英語の中でもリスニングが苦手だったので、とにかく普段から英語を聞くようにしました。
2. 正直とても驚きました。でも自分が努力賞に選ばれたということは嬉しいことであるし、今後の励みにもなりました。

【水産学部・優秀賞】

1. 英語のラジオを聞く。単語をひたすら覚える。
2. 努力が結果となったのでうれしい。より頑張ろうと思う。

【水産学部・努力賞】

1. 入学前は入試対策として応用を学習していましたが、入学後は基本的な内容や就職を意識して学習しています。
2. 今までとは異なる受験方法だったため、難しく感じましたが、得点が上がり努力賞を受賞でき嬉しく思います。

【水産学部・努力賞】

1. ただ机に向かって問題集を開いて勉強するよりも、P-SEG の授業を取って外国人と話したり議論したり英語でプレゼンテーションをしたりと、実践的な英語学習を取り入れた。授業以外でも外国人の友人を作って英会話に触れる時間を多くとった。
2. 単純に評価されたことは嬉しいし、自信を持てたのでこれからも英語を頑張って勉強していこうと思った。

【水産学部・努力賞】

1. 授業をしっかり受ける。課題を丁寧にやる。
2. 嬉しいです。

【共同獣医学部・優秀賞】

1. 入学前はひたすら文法・単語を頭に入れた。音読を重要視し、長文は必ず5回～10回音読した。入学後は特に何もしていません。
2. 特にないです。図書カードはとても有り難いです。

【共同獣医学部・努力賞】

1. 入学前は受験の二次試験に英語がなかったの、あまり得意といえるほど勉強してなかった。入学後は授業も楽しかったし、**EnglishCentral** も好きでたくさんして、楽しかったなという印象が強い。
2. 前期はやり方もよく分からないまま操作したため、ちゃんと解けていた訳ではなかった。後期は前期で慣れたため、自然と成績も上がったのだと思う。

【共同獣医学部・努力賞】

1. 前期と後期を比較してリスニングしか伸びていなかったが、リスニングに関しては**EnglishCentral** の授業目標達成のための勉強をした。3ヶ月やり続ける中で、自分では気付かないうちに伸びていたようだ。リーディングに関しては、高校の時の方が遙かに勉強していたので、その時の残りのおかげだと思う。
2. 英語は使うのは好きだが、テストという形で表彰されるとは思ってもいなかったので嬉しく思う。今後のため、韓国語、中国語も独学で学び始めたところだ。**EnglishCentral** で学んだように、音や発話から入って今後も勉強を続けていきたい。

以上、資料6のアンケートの回答内容を概観すると、受賞者たちの英語学習のコツや工夫は、普通の英語授業をおろそかにせず、集中して、継続的に、何らかの切り口を設けて英語に取り組む点に特徴があるといえるであろう。

これは、回答の中の指摘にもあったように、大学入試を控えた高校時代と比べて、入学後の英語学習時間が、おのずと少なくなることが背景にある。つまり、入学後のそのような状況下で、自ら自主的に英語力を維持、向上させる方策を講じた結果ともいえる。学習時間を確保すると同時に、集中して、継続的に、という点が鍵である。

具体的には、身近な授業に加え、課外活動（P-SEGという学内グローバルセンター主導によるプログラムの課外英語授業）、メディア利用（英語ラジオ番組、大学から提供され任意で利用可能であった課外の**EnglishCentral**という英語オンライン教材）、その他に、興味ある分野の文献（原書含む）読解、TOEIC対策問題利用、単語帳の作成・活用、自分で物事を考えて書く、音読（中には5回～10回）といった方法が紹介されていた。

1年次の週二回の英語授業では、習熟度により多少の程度差はあるが、聞いて、読むという理解面（reception）と、書いて、話し、発表するといった産出面（production）、加えて、さまざまな状況、場面下でのやりとり（interaction）を軸にして、「教養」を踏まえつつ自

己の専門領域を意識した英語学習が展開される。週二回の英語授業とその予習・復習の隙間を埋めるように、学生が例示した上記のような方策による努力があったと推察される。

すでに特定方面の就職を意識して取り組む学生もいるが、大方、英語に興味を持って楽しむ部分を共通してもっていると思われる。

感想では、受賞がさらなる勉強の励みになるという指摘が多い。学生の勉強や努力の結果が評価されるというのは本人にとってはもちろん、そこに関わる教員や事務スタッフにとっても励みとなる。

B-3. 表彰制度に係る今後の課題

英語アチーブメントテスト表彰制度とその運用状況に関する今後の課題について 2 点挙げておく。ひとつは、努力賞の決定方法に関する見直しについて(1)、もうひとつは、今後の継続的な留意点という意味合いで、現行アチーブメントテスト GTEC CTE が 2 技能試験であることの当面の補完策と共通教育からみた考え方（スコア向上のみを第一目的とはしない）について(2)、である。以下、この 2 点について触れておこう。

(1) B-1 で触れたように、優秀賞と努力賞は、各学部の成績最上位者と前後期の得点向上幅が顕著であった者にとりそれぞれ与えられる。同点者が複数いる場合には（優秀者が二人以上、努力賞が 3 人以上）、その都度、認定に係る当該の会議にて協議してきた。これまでのところ規定数を越えた受賞者が省かれたことはない。他方、努力賞の伸び幅については、G-TELP 利用のときから数えて複数回（今回の GTEC CTE 時も含めて）、伸び幅の見方について議論が分かれることがあった。要は、各回の全学平均点超えを前提として伸び幅を見るかどうかにある。これまでは結果として、平均点がとれたかどうかは前提とせず、もっぱら伸び幅だけを基準にその努力を称えてきた。確かに、初回と 2 回目の伸びを称えることは、その学生がどのような習熟度にあるかを前提とせず、どの学生にも幅広く受賞の可能性を開くことになる。概して英語を苦手としながら平均点を取れない学生にも受賞の夢や機会を与えてきたといっても過言ではない。しかしながら、少なくとも 2 回目の試験では一定のスコア（たとえば全学平均点）をクリアした上で、伸び幅を評価すべきではないか、そうであればこそ、その努力の価値は賞状に副賞までも添えて称えるに値するのだ、とする見方もある。最近、構成委員数のより多い議場において、この考え方が強くなってきているように感じられる。よってあらためて、この問題について実施責任母体である共通教育センター外国語教育部門にて検討したうえで、その上部会議等でも諮る必要があるように思われる。

(2) 現行採用のアチーブメントテスト GTEC CTE が、技能面からみれば、聞くこと、読むことという 2 技能に基づく試験であることを踏まえ、それらと並行して「書く」、「話す」ことを自学自修面でも意識的に連動させていく 4 技能統合的な英語学習の工夫を継続的に奨励することが求められるであろう。正課の英語授業も「やりとり」(interaction) を含めた 4 技能統合の方向でカリキュラムが組まれているが、週二回の授業のみではその予習・復習を加えても、実効性のある英語学習には十分とはいえない。平成 30 (2018) 年度から

本格始動する外国語サロン（仮称）も念頭に置きながら、大学での幅広い学習機会の活用方法のすすめも講じていく必要がある。いうまでも無く、TOEIC、英検、TOEFL、IELTS といった GTEC CTE 以外の英語外部試験と、その準備勉強を活用することも、さらなる自学自修の一助となる。

なお継続的な留意点として、学内の英語学习上、GTEC CTE スコアの向上のみが目的にならないよう注意する必要もある。カリキュラムや自学自修の努力によって、結果として GTEC CTE スコアも伸びる、という流れが理想的であろう。共通教育の観点からは、英語力の技能面向上がすべてではないであろう。自らの専門分野との関連で英語が活用できることを目指すとともに、相手あつてのコミュニケーションであることを踏まえ、時宜に応じた相手との意味の伝え合いが重要である。異文化理解の素養と精神を広げ深めることや、状況や場面を踏まえつつ、相手を理解しようとする姿勢のあり方を問い、そのような感性を高めていく努力が必要である。そのためにも、他者による評価の有無にも左右されない、自律的な自学自修の習慣を、身につけていくことが極めて肝要であろう。

C. 学生によるアンケート結果について

C-1. CEFR-J に基づくアンケート

グローバルスタンダードに準拠した英語力評価について、文部科学省はそれに特化した連絡協議会を設置した。グローバル対応型の学力評価・測定ツールとしてふさわしい英語の資格・検定試験が示される一方、言語使用能力を示す CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）を取り上げている。ルーブリック化されたこの言語能力指標を活用し、従来の筆記・口頭試験だけでなく、多面的に英語力を測定・評価していこうとする外国語教育政策である。

この視点を念頭に、GTEC CTE による英語力評価とあわせ、日本人学習者用に準備された CEFR-J を導入している。これは CEFR で提案された 3つの観点からみた英語運用能力（interaction, reception, production）と大学生として求められるレベル、つまり「自立した言語使用者」（B レベル）を焦点にしており、そのためのアンケート調査である。言いかえるとこのルーブリックで提供された質問項目に回答することで、学習者が自らの英語実践・運用能力を自己診断することが可能となる。その結果をもとに GTEC CTE の試験結果(診断データ)から掬い取れない、細部に亘る英語学力（実践・運用能力）を明らかにできる。それにより、効果的、効率的な学習ストラテジーを、自発的かつ自律的に行える学習者として成長していくことが期待されている。

具体的な質問項目を以下に示す。GTEC CTE 受験終了後、同じく PC 画面上で、このアンケートに回答してもらう（約 15 分程度）。

資料 7 平成 28（2016）年度アンケート調査内容

このアンケート調査は、本日受験した G-TEC CTE(英語学力試験)とは別の観点からあなたの英語学力(学習実践および到達度)を測定することが目的です。

質問は

＜Part I＞(英語運用能力に関する技能別観点)(28 問)

＜Part II＞(外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠日本人学習者用:CEFR-J)(14 問)から構成されています。

この調査は継続して行い、つぎの学期でも G-TEC CTE(英語学力試験)終了後に行います。それにより、(I) テストベースの英語学力、(II) この調査から得られた学習実践・到達度という、2つの側面から総合的に測定評価し、結果をフィードバックしていきます。

それにより、英語力と英語学習力の総合的なレベルを知ることができ、あなた自身に合った英語学習方法の構築、自発的・自律的な英語学習習慣の確立、そして学習動機づけの安定化に向けた重要な参考データとなります。

(注意とお願い)

1. 質問数が多いため、面倒くさがらず、まじめに最後まで回答してください。
2. 深く悩んだり、考えたりする必要はありません。第一印象をもとに、手際よく回答していき下さい。

■ 1 問=30 秒以内を目安にしてください。21 分以内に終わる形で進めてください。

3. 質問がある場合、担当教員に連絡してください。

では始めてください。

基本設問情報

設問 1 入学年度を選択してください。

--選択してください。 --v

設問 2 学部/学科/学籍番号を入力してください。(100 文字以内)

設問 3 氏名を入力してください。(20 文字以内)

<Part I> (英語運用能力に関する技能別観点) (28 問)

[回答で使う6つのスケール] ※番号を1つ選んでください。

1 = まったくできない

2 = ほとんどできない

3 = どちらかといえばできない

4 = どちらかといえはできる

5 = ほとんどできる

6 = じゅうぶんできる

[A] 英語によるライティングに関して

1. 伝えたい内容をより具体的にし、発信情報をわかりやすくしながら書く
1----2----3----4----5----6
2. 内容全体を論理的な構成に整えて書く 1----2----3----4----5----6
3. 英文と英文のつながりが、論理的にスムーズにつながるように書く
1----2----3----4----5----6
4. 一つの英文(文構造)に正しい文法や語法を使って書く
1----2----3----4----5----6
5. 正しく単語を綴りながら(=正しいスペリング)で書く 1----2----3----4----5----6
6. 文や文章を見ながら正しく、または適切に句読点(, — : ;)を入れて書く
1----2----3----4----5----6
7. 書き上げた英文内容をもとにキーワード化し、それをういた視覚情報媒体
(内容を図示したもの、パワーポイントでの作図、OHP用スライドなど)を作成する
1----2----3----4----5----6

[B] 英語のリスニングに関して

1. 聞き取れた(理解できた)意思表示(うなずき、発話、ジェスチャー)を入れていく
1----2----3----4----5----6
2. 聞き取れない(理解できない)時に、繰り返してほしいリクエストを英語で言う
1----2----3----4----5----6
3. 聞き取れている(理解できている)かどうか確認したいので、それを英語で伝える
1----2----3----4----5----6
4. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で質問をする
1----2----3----4----5----6
5. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で自分の考えを述べる
1----2----3----4----5----6
6. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で助言や提案をする
1----2----3----4----5----6

[C] 英語の音読に関して ※黙読は除外してください

1. 辞書から発音記号・アクセントを調べ、正しく発音する 1----2----3----4----5----6

2. 英文の意味や文構造から考えて、適切に区切りながら読んでいく

1---2---3---4---5---6

3. つまったりせず、wpm(1分単位の音読スピード)を意識してスムーズに読んでいく

1---2---3---4---5---6

4. リエゾン(発音記号の連結)ルールを見つけ、連結発音を入れながら読んでいく

1---2---3---4---5---6

5. 気持ちや感情を示すため、単語や英文に意識的に音声変化をつけて読んでいく

1---2---3---4---5---6

[D] 英語による発話や表現に関して

1. アイコンタクトを入れながら発話する

1---2---3---4---5---6

2. 顔の表情を入れながら発話する

1---2---3---4---5---6

3. 指や手の動きを入れながら発話する

1---2---3---4---5---6

4. 内容や気持ちを表すために、体の動きも使って発話する

1---2---3---4---5---6

5. 性別、年齢、出身地や出身高校を英語で言う

1---2---3---4---5---6

6. 大学に関する所属や専攻(大学名、学部、学科、学年)を英語で言う

1---2---3---4---5---6

7. 何を専門的に学んでいきたいか、研究テーマと理由を英語で言う

1---2---3---4---5---6

8. 卒業後はどのような進路を計画しているか、理由を含めて英語で言う

1---2---3---4---5---6

9. 具体的にめざすべき大学生像と、その理由や目的を英語で言う

1---2---3---4---5---6

10. どのような価値観や信念をもっているか(またはもつべきか)、英語で言う

1---2---3---4---5---6

<Part II> (外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠日本人学習者用:CEFR-J) (14問)

※ 質問番号の後のカッコ内の記号と番号は無視してください(内容と関係ありません)。

[A] 書くこと(英語)

1. (B1.1) 自分に直接関わりのある環境(学校、職場、地域など)での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法をもちいて、まとまりのある書き方で描写することができる

1----2----3----4----5----6

2. (B1.2) 物事の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、いくつかの paragraph で書くことができる。

1----2----3----4----5----6

3. (B2.1) そのトピックについて何か自分が知っていれば、自分の考えを示しつつ、ある程度の結束性のあるエッセイやレポートを、幅広い語彙をある程度使って、書くことができる

1----2----3----4----5----6

4. (B2.2) 自分の専門分野や関心のある事柄であれば、複雑な内容を含む報告書や論文などを、その原因や結果も考えて、詳細な文章で書くことができる

1----2----3----4----5----6

[B-(1)] 聞くこと(英語)

1. (B1.2) 自然な速さの録音や放送(天気予報や空港のアナウンスなど)を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる

1----2----3----4----5----6

2. (B2.1) トピックが身近であれば、長い話や複雑な議論の流れを理解することができる

1----2----3----4----5----6

[B-(2)] やりとり(英語)

1. (B1.1) 身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる

1----2----3----4----5----6

2. (B1.1) 個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を用いて、社会的な会話を続けることができる

1----2----3----4----5----6

3. (B2.1) ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる

1----2----3----4----5----6

4. (B2.1) 自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックなら、抽象的なトピックであっても、議論できる

1----2----3----4----5----6

[C] 読むこと(英語)

1. (B1.2) インターネットや参考図書などを調べて、学業や仕事に関係ある情報を手に入れるこ

とができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる

1---2---3---4---5---6

2. (B2.2) 自分の専門分野の論文や資料から、辞書を使わずに、必要な情報や論点を読み取ることができる

1---2---3---4---5---6

[D] 発表(英語)

1. (B1.1) 使える語句や表現をつないで、自分の経験や夢、希望を順序立て、話しを広げながら、ある程度詳しく語ることができる

1---2---3---4---5---6

2. (B1.1) 自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語ることができる

1---2---3---4---5---6

C-2. アンケート結果とまとめ

平成 28 (2016) 年度に実施された 2 回のアンケート結果 (前期、後期—1 年生対象) を以下にまとめて示す (基本データ: 回答数および比率)。

資料 8 平成 28 (2016) 年度アンケート結果

[A] 英語によるライティングに関して

1. 伝えたい内容をより具体的にし、発信情報をわかりやすくしながら書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえ ばできる		どちらかといえ ばできない		ほとんど できない		まったく できない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部			17	6	97	47	81	44	33	17	5	9
共同獣医学部					10	12	8	11	9	6	2	1
教育学部	1	2	10	6	90	101	126	110	63	52	6	9
工学部	1	1	15	11	149	140	170	188	104	111	25	17
歯学部	2		2	1	20	12	14	5	7	4	1	1
水産学部	1		6	9	49	57	58	43	23	26	7	2
農学部			5	9	63	56	84	78	47	45	12	9
法文学部	1	1	17	15	142	152	144	124	63	44	7	6
理学部	1		2	4	66	67	83	72	33	32	11	5
全学	7	4	74	61	686	644	768	675	382	337	76	59

1. 伝えたい内容をより具体的にし、発信情報をわかりやすくしながら書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえ ばできる		どちらかといえ ばできない		ほとんど できない		まったく できない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.0%	0.0%	7.3%	4.9%	41.6%	38.2%	34.8%	35.8%	14.2%	13.8%	2.1%	7.3%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.5%	40.0%	27.6%	36.7%	31.0%	20.0%	6.9%	3.3%
教育学部	0.3%	0.7%	3.4%	2.1%	30.4%	36.1%	42.6%	39.3%	21.3%	18.6%	2.0%	3.2%
工学部	0.2%	0.2%	3.2%	2.4%	32.1%	29.9%	36.6%	40.2%	22.4%	23.7%	5.4%	3.6%
歯学部	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%	43.5%	52.2%	30.4%	21.7%	15.2%	17.4%	2.2%	4.3%
水産学部	0.7%	0.0%	4.2%	6.6%	34.0%	41.6%	40.3%	31.4%	16.0%	19.0%	4.9%	1.5%
農学部	0.0%	0.0%	2.4%	4.6%	29.9%	28.4%	39.8%	39.6%	22.3%	22.8%	5.7%	4.6%
法文学部	0.3%	0.3%	4.5%	4.4%	38.0%	44.4%	38.5%	36.3%	16.8%	12.9%	1.9%	1.8%
理学部	0.5%	0.0%	1.0%	2.2%	33.7%	37.2%	42.3%	40.0%	16.8%	17.8%	5.6%	2.8%
全学	0.4%	0.2%	3.7%	3.4%	34.4%	36.2%	38.5%	37.9%	19.2%	18.9%	3.8%	3.3%

2. 内容全体を論理的な構成に整えて書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえ ばできる		どちらかといえ ばできない		ほとんど できない		まったく できない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部			18	8	91	40	83	48	33	18	8	9
共同獣医学部			1	1	10	13	5	8	11	7	2	1
教育学部	2	2	14	13	92	88	126	107	49	60	13	10
工学部	2	1	23	10	112	143	201	176	99	112	27	26
歯学部	2		4	1	18	10	14	9	8	3		
水産学部		1	9	9	44	52	55	47	29	25	7	3
農学部	3		4	8	55	58	89	72	48	50	12	9
法文学部	2	2	20	16	128	143	152	132	62	41	10	8
理学部	2	2	5	8	52	53	96	74	31	35	10	8
全学	13	8	98	74	602	600	821	673	370	351	89	74

2. 内容全体を論理的な構成に整えて書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえ ばできる		どちらかといえ ばできない		ほとんど できない		まったく できない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.0%	0.0%	7.7%	6.5%	39.1%	32.5%	35.6%	39.0%	14.2%	14.6%	3.4%	7.3%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	3.3%	34.5%	43.3%	17.2%	26.7%	37.9%	23.3%	6.9%	3.3%
教育学部	0.7%	0.7%	4.7%	4.6%	31.1%	31.4%	42.6%	38.2%	16.6%	21.4%	4.4%	3.6%
工学部	0.4%	0.2%	5.0%	2.1%	24.1%	30.6%	43.3%	37.6%	21.3%	23.9%	5.8%	5.6%
歯学部	4.3%	0.0%	8.7%	4.3%	39.1%	43.5%	30.4%	39.1%	17.4%	13.0%	0.0%	0.0%
水産学部	0.0%	0.7%	6.3%	6.6%	30.6%	38.0%	38.2%	34.3%	20.1%	18.2%	4.9%	2.2%
農学部	1.4%	0.0%	1.9%	4.1%	26.1%	29.4%	42.2%	36.5%	22.7%	25.4%	5.7%	4.6%
法文学部	0.5%	0.6%	5.3%	4.7%	34.2%	41.8%	40.6%	38.6%	16.6%	12.0%	2.7%	2.3%
理学部	1.0%	1.1%	2.6%	4.4%	26.5%	29.4%	49.0%	41.1%	15.8%	19.4%	5.1%	4.4%
全学	0.7%	0.4%	4.9%	4.2%	30.2%	33.7%	41.2%	37.8%	18.6%	19.7%	4.5%	4.2%

3. 英文と英文のつながりが、論理的にスムーズにつながるように書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえ ばできる		どちらかといえ ばできない		ほとんど できない		まったく できない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1		19	7	98	44	82	41	27	23	6	8
共同獣医学部				1	11	14	9	10	7	4	2	1
教育学部	4	4	13	12	83	95	125	112	60	50	11	7
工学部		1	29	15	140	147	173	173	99	106	23	26
歯学部	3		4	3	17	10	15	8	5	2	2	
水産学部	1	1	6	6	41	43	60	54	30	29	6	4
農学部	1		11	7	59	64	89	70	41	47	10	9
法文学部	4	1	27	24	150	140	131	133	55	40	7	4
理学部	1		9	7	64	62	73	75	36	29	13	7
全学	15	7	118	82	663	619	757	676	360	330	80	66

3. 英文と英文のつながりが、論理的にスムーズにつながるように書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえ ばできる		どちらかといえ ばできない		ほとんど できない		まったく できない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.4%	0.0%	8.2%	5.7%	42.1%	35.8%	35.2%	33.3%	11.6%	18.7%	2.6%	6.5%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	37.9%	46.7%	31.0%	33.3%	24.1%	13.3%	6.9%	3.3%
教育学部	1.4%	1.4%	4.4%	4.3%	28.0%	33.9%	42.2%	40.0%	20.3%	17.9%	3.7%	2.5%
工学部	0.0%	0.2%	6.3%	3.2%	30.2%	31.4%	37.3%	37.0%	21.3%	22.6%	5.0%	5.6%
歯学部	6.5%	0.0%	8.7%	13.0%	37.0%	43.5%	32.6%	34.8%	10.9%	8.7%	4.3%	0.0%
水産学部	0.7%	0.7%	4.2%	4.4%	28.5%	31.4%	41.7%	39.4%	20.8%	21.2%	4.2%	2.9%
農学部	0.5%	0.0%	5.2%	3.6%	28.0%	32.5%	42.2%	35.5%	19.4%	23.9%	4.7%	4.6%
法文学部	1.1%	0.3%	7.2%	7.0%	40.1%	40.9%	35.0%	38.9%	14.7%	11.7%	1.9%	1.2%
理学部	0.5%	0.0%	4.6%	3.9%	32.7%	34.4%	37.2%	41.7%	18.4%	16.1%	6.6%	3.9%
全学	0.8%	0.4%	5.9%	4.6%	33.3%	34.8%	38.0%	38.0%	18.1%	18.5%	4.0%	3.7%

4. 一つの英文(文構造)に正しい文法や語法を使って書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2	1	27	12	105	42	73	42	22	20	4	6
共同獣医学部			3	6	12	10	11	10	1	3	2	1
教育学部	2	2	26	23	112	110	107	102	41	36	8	7
工学部	5	2	31	27	159	161	163	169	87	88	19	21
歯学部	1		7	5	20	10	14	6	4	2		
水産学部	2		4	8	53	46	50	49	27	29	8	5
農学部	1		12	15	80	70	81	68	32	37	5	7
法文学部	8	2	33	29	155	161	123	103	46	40	9	7
理学部	1	1	15	10	85	64	57	78	26	24	12	3
全学	22	8	158	135	781	674	679	627	286	279	67	57

4. 一つの英文(文構造)に正しい文法や語法を使って書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.9%	0.8%	11.6%	9.8%	45.1%	34.1%	31.3%	34.1%	9.4%	16.3%	1.7%	4.9%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	10.3%	20.0%	41.4%	33.3%	37.9%	33.3%	3.4%	10.0%	6.9%	3.3%
教育学部	0.7%	0.7%	8.8%	8.2%	37.8%	39.3%	36.1%	36.4%	13.9%	12.9%	2.7%	2.5%
工学部	1.1%	0.4%	6.7%	5.8%	34.3%	34.4%	35.1%	36.1%	18.8%	18.8%	4.1%	4.5%
歯学部	2.2%	0.0%	15.2%	21.7%	43.5%	43.5%	30.4%	26.1%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%
水産学部	1.4%	0.0%	2.8%	5.8%	36.8%	33.6%	34.7%	35.8%	18.8%	21.2%	5.6%	3.6%
農学部	0.5%	0.0%	5.7%	7.6%	37.9%	35.5%	38.4%	34.5%	15.2%	18.8%	2.4%	3.6%
法文学部	2.1%	0.6%	8.8%	8.5%	41.4%	47.1%	32.9%	30.1%	12.3%	11.7%	2.4%	2.0%
理学部	0.5%	0.6%	7.7%	5.6%	43.4%	35.6%	29.1%	43.3%	13.3%	13.3%	6.1%	1.7%
全学	1.1%	0.4%	7.9%	7.6%	39.2%	37.9%	34.1%	35.2%	14.4%	15.7%	3.4%	3.2%

5. 正しく単語を綴りながら(=正しいスペリング)で書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	8	2	58	24	109	55	47	30	9	8	2	4
共同獣医学部	2	3	6	7	9	12	9	6		1	3	1
教育学部	5	5	59	63	139	140	68	46	19	24	6	2
工学部	17	12	85	81	187	175	116	124	46	62	13	14
歯学部	6	1	7	3	20	13	12	5	1	1		
水産学部	6	5	24	21	55	51	37	41	16	17	6	2
農学部	8	4	34	40	105	90	41	43	19	18	4	2
法文学部	28	17	86	71	159	158	76	75	23	17	2	4
理学部	10	5	30	30	77	69	51	54	22	20	6	2
全学	90	54	389	340	860	763	457	424	155	168	42	31

5. 正しく単語を綴りながら(=正しいスペリング)で書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3.4%	1.6%	24.9%	19.5%	46.8%	44.7%	20.2%	24.4%	3.9%	6.5%	0.9%	3.3%
共同獣医学部	6.9%	10.0%	20.7%	23.3%	31.0%	40.0%	31.0%	20.0%	0.0%	3.3%	10.3%	3.3%
教育学部	1.7%	1.8%	19.9%	22.5%	47.0%	50.0%	23.0%	16.4%	6.4%	8.6%	2.0%	0.7%
工学部	3.7%	2.6%	18.3%	17.3%	40.3%	37.4%	25.0%	26.5%	9.9%	13.2%	2.8%	3.0%
歯学部	13.0%	4.3%	15.2%	13.0%	43.5%	56.5%	26.1%	21.7%	2.2%	4.3%	0.0%	0.0%
水産学部	4.2%	3.6%	16.7%	15.3%	38.2%	37.2%	25.7%	29.9%	11.1%	12.4%	4.2%	1.5%
農学部	3.8%	2.0%	16.1%	20.3%	49.8%	45.7%	19.4%	21.8%	9.0%	9.1%	1.9%	1.0%
法文学部	7.5%	5.0%	23.0%	20.8%	42.5%	46.2%	20.3%	21.9%	6.1%	5.0%	0.5%	1.2%
理学部	5.1%	2.8%	15.3%	16.7%	39.3%	38.3%	26.0%	30.0%	11.2%	11.1%	3.1%	1.1%
全学	4.5%	3.0%	19.5%	19.1%	43.2%	42.9%	22.9%	23.8%	7.8%	9.4%	2.1%	1.7%

6. 文や文章を見ながら正しく、または適切に句読点(、—：)を入れて書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	5	1	63	17	89	55	54	34	17	9	5	7
共同獣医学部		1	5	5	14	16	4	5	4	2	2	1
教育学部	11	6	54	43	110	119	83	80	27	25	11	7
工学部	17	11	56	56	176	166	126	145	64	71	25	19
歯学部	5		5	3	19	11	12	8	4	1	1	
水産学部	4	2	20	21	55	59	39	36	17	14	9	5
農学部	5	2	26	38	80	74	72	48	20	29	8	6
法文学部	20	15	83	60	158	163	85	77	25	22	3	5
理学部	7	4	38	23	72	66	43	53	24	28	12	6
全学	74	42	350	266	773	729	518	486	202	201	76	56

6. 文や文章を見ながら正しく、または適切に句読点(、—：)を入れて書く												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2.1%	0.8%	27.0%	13.8%	38.2%	44.7%	23.2%	27.6%	7.3%	7.3%	2.1%	5.7%
共同獣医学部	0.0%	3.3%	17.2%	16.7%	48.3%	53.3%	13.8%	16.7%	13.8%	6.7%	6.9%	3.3%
教育学部	3.7%	2.1%	18.2%	15.4%	37.2%	42.5%	28.0%	28.6%	9.1%	8.9%	3.7%	2.5%
工学部	3.7%	2.4%	12.1%	12.0%	37.9%	35.5%	27.2%	31.0%	13.8%	15.2%	5.4%	4.1%
歯学部	10.9%	0.0%	10.9%	13.0%	41.3%	47.8%	26.1%	34.8%	8.7%	4.3%	2.2%	0.0%
水産学部	2.8%	1.5%	13.9%	15.3%	38.2%	43.1%	27.1%	26.3%	11.8%	10.2%	6.3%	3.6%
農学部	2.4%	1.0%	12.3%	19.3%	37.9%	37.6%	34.1%	24.4%	9.5%	14.7%	3.8%	3.0%
法文学部	5.3%	4.4%	22.2%	17.5%	42.2%	47.7%	22.7%	22.5%	6.7%	6.4%	0.8%	1.5%
理学部	3.6%	2.2%	19.4%	12.8%	36.7%	36.7%	21.9%	29.4%	12.2%	15.6%	6.1%	3.3%
全学	3.7%	2.4%	17.6%	14.9%	38.8%	41.0%	26.0%	27.3%	10.1%	11.3%	3.8%	3.1%

7. 書き上げた英文内容をもとにキーワード化し、それを用いた視覚情報媒体(内容を図示したもの、パワーポイントでの作図、OHP用スライドなど)を作成する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	9	3	30	14	94	56	65	29	29	13	6	8
共同獣医学部		1	1	1	10	11	9	9	6	6	3	2
教育学部	11	4	33	43	78	113	101	66	55	45	18	9
工学部	7	7	33	43	123	141	145	157	117	94	39	26
歯学部	2		5	2	16	7	16	10	5	3	2	1
水産学部	3	5	13	19	43	50	35	32	34	23	16	8
農学部	3	1	14	20	71	75	50	50	56	36	17	15
法文学部	11	5	27	34	105	143	127	93	85	55	19	12
理学部	8	2	20	15	59	62	57	58	39	33	13	10
全学	54	28	176	191	599	658	605	504	426	308	133	91

7. 書き上げた英文内容をもとにキーワード化し、それを用いた視覚情報媒体(内容を図示したもの、パワーポイントでの作図、OHP用スライドなど)を作成する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3.9%	2.4%	12.9%	11.4%	40.3%	45.5%	27.9%	23.6%	12.4%	10.6%	2.6%	6.5%
共同獣医学部	0.0%	3.3%	3.4%	3.3%	34.5%	36.7%	31.0%	30.0%	20.7%	20.0%	10.3%	6.7%
教育学部	3.7%	1.4%	11.1%	15.4%	26.4%	40.4%	34.1%	23.6%	18.6%	16.1%	6.1%	3.2%
工学部	1.5%	1.5%	7.1%	9.2%	26.5%	30.1%	31.3%	33.5%	25.2%	20.1%	8.4%	5.6%
歯学部	4.3%	0.0%	10.9%	8.7%	34.8%	30.4%	34.8%	43.5%	10.9%	13.0%	4.3%	4.3%
水産学部	2.1%	3.6%	9.0%	13.9%	29.9%	36.5%	24.3%	23.4%	23.6%	16.8%	11.1%	5.8%
農学部	1.4%	0.5%	6.6%	10.2%	33.6%	38.1%	23.7%	25.4%	26.5%	18.3%	8.1%	7.6%
法文学部	2.9%	1.5%	7.2%	9.9%	28.1%	41.8%	34.0%	27.2%	22.7%	16.1%	5.1%	3.5%
理学部	4.1%	1.1%	10.2%	8.3%	30.1%	34.4%	29.1%	32.2%	19.9%	18.3%	6.6%	5.6%
全学	2.7%	1.6%	8.8%	10.7%	30.1%	37.0%	30.4%	28.3%	21.4%	17.3%	6.7%	5.1%

【B】英語のリスニングに関して

1. 聞き取れた(理解できた)意思表示(うなずき、発話、ジェスチャー)を入れていく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	5	5	36	12	103	52	57	33	24	15	8	6
共同獣医学部			3	4	14	12	7	10	3	2	2	2
教育学部	15	7	33	41	115	120	76	61	49	47	8	4
工学部	20	14	45	42	179	196	111	121	79	77	30	18
歯学部	4		5	1	18	13	11	7	5	1	3	1
水産学部	5	4	18	21	63	60	31	27	19	18	8	7
農学部	7	10	22	23	83	84	56	45	33	27	10	8
法文学部	20	9	45	37	157	159	84	88	60	42	8	7
理学部	10	5	25	29	71	77	37	44	40	20	13	5
全学	86	54	232	210	803	773	470	436	312	249	90	58

1. 聞き取れた(理解できた)意思表示(うなずき、発話、ジェスチャー)を入れていく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2.1%	4.1%	15.5%	9.8%	44.2%	42.3%	24.5%	26.8%	10.3%	12.2%	3.4%	4.9%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	10.3%	13.3%	48.3%	40.0%	24.1%	33.3%	10.3%	6.7%	6.9%	6.7%
教育学部	5.1%	2.5%	11.1%	14.6%	38.9%	42.9%	25.7%	21.8%	16.6%	16.8%	2.7%	1.4%
工学部	4.3%	3.0%	9.7%	9.0%	38.6%	41.9%	23.9%	25.9%	17.0%	16.5%	6.5%	3.8%
歯学部	8.7%	0.0%	10.9%	4.3%	39.1%	56.5%	23.9%	30.4%	10.9%	4.3%	6.5%	4.3%
水産学部	3.5%	2.9%	12.5%	15.3%	43.8%	43.8%	21.5%	19.7%	13.2%	13.1%	5.6%	5.1%
農学部	3.3%	5.1%	10.4%	11.7%	39.3%	42.6%	26.5%	22.8%	15.6%	13.7%	4.7%	4.1%
法文学部	5.3%	2.6%	12.0%	10.8%	42.0%	46.5%	22.5%	25.7%	16.0%	12.3%	2.1%	2.0%
理学部	5.1%	2.8%	12.8%	16.1%	36.2%	42.8%	18.9%	24.4%	20.4%	11.1%	6.6%	2.8%
全学	4.3%	3.0%	11.6%	11.8%	40.3%	43.4%	23.6%	24.5%	15.7%	14.0%	4.5%	3.3%

2. 聞き取れない(理解できない)時に、繰り返してほしいリクエストを英語で言う												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	9	6	39	10	103	54	52	35	23	12	7	6
共同獣医学部	1	2	6	6	12	16	4	3	4	2	2	1
教育学部	18	8	45	55	122	108	70	73	35	32	6	4
工学部	23	22	71	55	153	194	120	118	65	58	32	21
歯学部	7		8	2	15	15	10	5	5	1	1	
水産学部	7	8	22	22	53	55	40	30	14	19	8	3
農学部	12	7	15	29	79	72	58	45	40	30	7	14
法文学部	24	12	63	49	167	148	62	91	48	33	10	9
理学部	9	6	27	28	75	73	40	41	31	23	14	9
全学	110	71	296	256	779	735	456	441	265	210	87	67

2. 聞き取れない(理解できない)時に、繰り返してほしいリクエストを英語で言う												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3.9%	4.9%	16.7%	8.1%	44.2%	43.9%	22.3%	28.5%	9.9%	9.8%	3.0%	4.9%
共同獣医学部	3.4%	6.7%	20.7%	20.0%	41.4%	53.3%	13.8%	10.0%	13.8%	6.7%	6.9%	3.3%
教育学部	6.1%	2.9%	15.2%	19.6%	41.2%	38.6%	23.6%	26.1%	11.8%	11.4%	2.0%	1.4%
工学部	5.0%	4.7%	15.3%	11.8%	33.0%	41.5%	25.9%	25.2%	14.0%	12.4%	6.9%	4.5%
歯学部	15.2%	0.0%	17.4%	8.7%	32.6%	65.2%	21.7%	21.7%	10.9%	4.3%	2.2%	0.0%
水産学部	4.9%	5.8%	15.3%	16.1%	36.8%	40.1%	27.8%	21.9%	9.7%	13.9%	5.6%	2.2%
農学部	5.7%	3.6%	7.1%	14.7%	37.4%	36.5%	27.5%	22.8%	19.0%	15.2%	3.3%	7.1%
法文学部	6.4%	3.5%	16.8%	14.3%	44.7%	43.3%	16.6%	26.6%	12.8%	9.6%	2.7%	2.6%
理学部	4.6%	3.3%	13.8%	15.6%	38.3%	40.6%	20.4%	22.8%	15.8%	12.8%	7.1%	5.0%
全学	5.5%	4.0%	14.9%	14.4%	39.1%	41.3%	22.9%	24.8%	13.3%	11.8%	4.4%	3.8%

3. 聞き取れている(理解できている)かどうか確認したいので、それを英語で伝える												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	4	2	23	4	61	29	85	50	49	29	11	9
共同獣医学部			3	4	6	10	11	11	5	3	4	2
教育学部	4	3	18	13	71	68	119	120	72	59	12	17
工学部	7	7	34	23	87	114	192	184	100	111	44	29
歯学部	4		4	1	13	12	15	7	7	3	3	
水産学部		1	13	13	36	35	52	50	32	30	11	8
農学部	3	3	8	6	41	47	86	75	50	44	23	22
法文学部	7	4	24	14	98	90	143	150	88	68	14	16
理学部		4	10	7	51	58	66	62	46	34	23	15
全学	29	24	137	85	464	463	769	709	449	381	145	118

3. 聞き取れている(理解できている)かどうか確認したいので、それを英語で伝える												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1.7%	1.6%	9.9%	3.3%	26.2%	23.6%	36.5%	40.7%	21.0%	23.6%	4.7%	7.3%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	10.3%	13.3%	20.7%	33.3%	37.9%	36.7%	17.2%	10.0%	13.8%	6.7%
教育学部	1.4%	1.1%	6.1%	4.6%	24.0%	24.3%	40.2%	42.9%	24.3%	21.1%	4.1%	6.1%
工学部	1.5%	1.5%	7.3%	4.9%	18.8%	24.4%	41.4%	39.3%	21.6%	23.7%	9.5%	6.2%
歯学部	8.7%	0.0%	8.7%	4.3%	28.3%	52.2%	32.6%	30.4%	15.2%	13.0%	6.5%	0.0%
水産学部	0.0%	0.7%	9.0%	9.5%	25.0%	25.5%	36.1%	36.5%	22.2%	21.9%	7.6%	5.8%
農学部	1.4%	1.5%	3.8%	3.0%	19.4%	23.9%	40.8%	38.1%	23.7%	22.3%	10.9%	11.2%
法文学部	1.9%	1.2%	6.4%	4.1%	26.2%	26.3%	38.2%	43.9%	23.5%	19.9%	3.7%	4.7%
理学部	0.0%	2.2%	5.1%	3.9%	26.0%	32.2%	33.7%	34.4%	23.5%	18.9%	11.7%	8.3%
全学	1.5%	1.3%	6.9%	4.8%	23.3%	26.0%	38.6%	39.8%	22.5%	21.4%	7.3%	6.6%

4. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で質問をする口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	4	2	8	2	69	31	89	48	47	29	16	11
共同獣医学部			1		7	12	10	9	8	7	3	2
教育学部	4	1	10	16	77	76	122	108	69	58	14	21
工学部	4	4	27	21	110	122	159	164	115	113	49	44
歯学部	4		3	1	13	13	17	6	7	3	2	
水産学部	2	1	12	8	42	48	54	47	22	27	12	6
農学部	2	2	7	12	54	46	69	61	53	52	26	24
法文学部	3	1	24	18	102	103	136	130	93	71	16	19
理学部	1	4	7	7	47	56	72	60	46	36	23	17
全学	24	15	99	85	521	507	728	633	460	396	161	144

4. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で質問をする口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1.7%	1.6%	3.4%	1.6%	29.6%	25.2%	38.2%	39.0%	20.2%	23.6%	6.9%	8.9%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	24.1%	40.0%	34.5%	30.0%	27.6%	23.3%	10.3%	6.7%
教育学部	1.4%	0.4%	3.4%	5.7%	26.0%	27.1%	41.2%	38.6%	23.3%	20.7%	4.7%	7.5%
工学部	0.9%	0.9%	5.8%	4.5%	23.7%	26.1%	34.3%	35.0%	24.8%	24.1%	10.6%	9.4%
歯学部	8.7%	0.0%	6.5%	4.3%	28.3%	56.5%	37.0%	26.1%	15.2%	13.0%	4.3%	0.0%
水産学部	1.4%	0.7%	8.3%	5.8%	29.2%	35.0%	37.5%	34.3%	15.3%	19.7%	8.3%	4.4%
農学部	0.9%	1.0%	3.3%	6.1%	25.6%	23.4%	32.7%	31.0%	25.1%	26.4%	12.3%	12.2%
法文学部	0.8%	0.3%	6.4%	5.3%	27.3%	30.1%	36.4%	38.0%	24.9%	20.8%	4.3%	5.6%
理学部	0.5%	2.2%	3.6%	3.9%	24.0%	31.1%	36.7%	33.3%	23.5%	20.0%	11.7%	9.4%
全学	1.2%	0.8%	5.0%	4.8%	26.1%	28.5%	36.5%	35.6%	23.1%	22.2%	8.1%	8.1%

5. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で自分の考えを述べる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	4	2	7	2	71	26	77	53	60	24	14	16
共同獣医学部			1		4	8	12	13	9	7	3	2
教育学部	4	2	9	16	83	67	110	100	66	68	24	27
工学部	3	3	18	20	95	104	156	161	132	122	60	58
歯学部	4		3	1	9	8	20	11	7	2	3	1
水産学部	2	1	10	8	45	45	42	44	28	29	17	10
農学部		2	7	7	55	45	62	57	50	60	37	26
法文学部	4	2	22	19	99	95	122	114	94	88	33	24
理学部	1	2	8	4	54	56	60	60	46	41	27	17
全学	22	14	85	77	515	454	661	613	492	441	218	181

5. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で自分の考えを述べる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1.7%	1.6%	3.0%	1.6%	30.5%	21.1%	33.0%	43.1%	25.8%	19.5%	6.0%	13.0%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	13.8%	26.7%	41.4%	43.3%	31.0%	23.3%	10.3%	6.7%
教育学部	1.4%	0.7%	3.0%	5.7%	28.0%	23.9%	37.2%	35.7%	22.3%	24.3%	8.1%	9.6%
工学部	0.6%	0.6%	3.9%	4.3%	20.5%	22.2%	33.6%	34.4%	28.4%	26.1%	12.9%	12.4%
歯学部	8.7%	0.0%	6.5%	4.3%	19.6%	34.8%	43.5%	47.8%	15.2%	8.7%	6.5%	4.3%
水産学部	1.4%	0.7%	6.9%	5.8%	31.3%	32.8%	29.2%	32.1%	19.4%	21.2%	11.8%	7.3%
農学部	0.0%	1.0%	3.3%	3.6%	26.1%	22.8%	29.4%	28.9%	23.7%	30.5%	17.5%	13.2%
法文学部	1.1%	0.6%	5.9%	5.6%	26.5%	27.8%	32.6%	33.3%	25.1%	25.7%	8.8%	7.0%
理学部	0.5%	1.1%	4.1%	2.2%	27.6%	31.1%	30.6%	33.3%	23.5%	22.8%	13.8%	9.4%
全学	1.1%	0.8%	4.3%	4.3%	25.8%	25.5%	33.2%	34.4%	24.7%	24.8%	10.9%	10.2%

5. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で自分の考えを述べる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	4	2	7	2	71	26	77	53	60	24	14	16
共同獣医学部			1		4	8	12	13	9	7	3	2
教育学部	4	2	9	16	83	67	110	100	66	68	24	27
工学部	3	3	18	20	95	104	156	161	132	122	60	58
歯学部	4		3	1	9	8	20	11	7	2	3	1
水産学部	2	1	10	8	45	45	42	44	28	29	17	10
農学部		2	7	7	55	45	62	57	50	60	37	26
法文学部	4	2	22	19	99	95	122	114	94	88	33	24
理学部	1	2	8	4	54	56	60	60	46	41	27	17
全学	22	14	85	77	515	454	661	613	492	441	218	181

5. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で自分の考えを述べる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1.7%	1.6%	3.0%	1.6%	30.5%	21.1%	33.0%	43.1%	25.8%	19.5%	6.0%	13.0%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	13.8%	26.7%	41.4%	43.3%	31.0%	23.3%	10.3%	6.7%
教育学部	1.4%	0.7%	3.0%	5.7%	28.0%	23.9%	37.2%	35.7%	22.3%	24.3%	8.1%	9.6%
工学部	0.6%	0.6%	3.9%	4.3%	20.5%	22.2%	33.6%	34.4%	28.4%	26.1%	12.9%	12.4%
歯学部	8.7%	0.0%	6.5%	4.3%	19.6%	34.8%	43.5%	47.8%	15.2%	8.7%	6.5%	4.3%
水産学部	1.4%	0.7%	6.9%	5.8%	31.3%	32.8%	29.2%	32.1%	19.4%	21.2%	11.8%	7.3%
農学部	0.0%	1.0%	3.3%	3.6%	26.1%	22.8%	29.4%	28.9%	23.7%	30.5%	17.5%	13.2%
法文学部	1.1%	0.6%	5.9%	5.6%	26.5%	27.8%	32.6%	33.3%	25.1%	25.7%	8.8%	7.0%
理学部	0.5%	1.1%	4.1%	2.2%	27.6%	31.1%	30.6%	33.3%	23.5%	22.8%	13.8%	9.4%
全学	1.1%	0.8%	4.3%	4.3%	25.8%	25.5%	33.2%	34.4%	24.7%	24.8%	10.9%	10.2%

5. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で自分の考えを述べる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	4	2	7	2	71	26	77	53	60	24	14	16
共同獣医学部			1		4	8	12	13	9	7	3	2
教育学部	4	2	9	16	83	67	110	100	66	68	24	27
工学部	3	3	18	20	95	104	156	161	132	122	60	58
歯学部	4		3	1	9	8	20	11	7	2	3	1
水産学部	2	1	10	8	45	45	42	44	28	29	17	10
農学部		2	7	7	55	45	62	57	50	60	37	26
法文学部	4	2	22	19	99	95	122	114	94	88	33	24
理学部	1	2	8	4	54	56	60	60	46	41	27	17
全学	22	14	85	77	515	454	661	613	492	441	218	181

5. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で自分の考えを述べる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1.7%	1.6%	3.0%	1.6%	30.5%	21.1%	33.0%	43.1%	25.8%	19.5%	6.0%	13.0%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	13.8%	26.7%	41.4%	43.3%	31.0%	23.3%	10.3%	6.7%
教育学部	1.4%	0.7%	3.0%	5.7%	28.0%	23.9%	37.2%	35.7%	22.3%	24.3%	8.1%	9.6%
工学部	0.6%	0.6%	3.9%	4.3%	20.5%	22.2%	33.6%	34.4%	28.4%	26.1%	12.9%	12.4%
歯学部	8.7%	0.0%	6.5%	4.3%	19.6%	34.8%	43.5%	47.8%	15.2%	8.7%	6.5%	4.3%
水産学部	1.4%	0.7%	6.9%	5.8%	31.3%	32.8%	29.2%	32.1%	19.4%	21.2%	11.8%	7.3%
農学部	0.0%	1.0%	3.3%	3.6%	26.1%	22.8%	29.4%	28.9%	23.7%	30.5%	17.5%	13.2%
法文学部	1.1%	0.6%	5.9%	5.6%	26.5%	27.8%	32.6%	33.3%	25.1%	25.7%	8.8%	7.0%
理学部	0.5%	1.1%	4.1%	2.2%	27.6%	31.1%	30.6%	33.3%	23.5%	22.8%	13.8%	9.4%
全学	1.1%	0.8%	4.3%	4.3%	25.8%	25.5%	33.2%	34.4%	24.7%	24.8%	10.9%	10.2%

6. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で助言や提案をする												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2	1	8	2	32	16	99	54	61	30	31	20
共同獣医学部					5	4	11	12	8	11	5	3
教育学部	1	1	3	3	37	48	123	95	79	95	53	38
工学部	2	3	9	11	56	73	152	160	155	132	90	89
歯学部	3		4		8	8	18	9	9	5	4	1
水産学部	2		9	4	23	25	46	51	43	44	21	13
農学部			2	3	29	27	71	61	63	60	46	46
法文学部	2	1	11	12	58	55	143	130	106	97	54	47
理学部			3	6	29	32	67	71	59	47	38	24
全学	12	6	49	41	277	288	730	643	583	521	342	281

6. 聞き取れて理解している時、その内容について英語で助言や提案をする												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.9%	0.8%	3.4%	1.6%	13.7%	13.0%	42.5%	43.9%	26.2%	24.4%	13.3%	16.3%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%	13.3%	37.9%	40.0%	27.6%	36.7%	17.2%	10.0%
教育学部	0.3%	0.4%	1.0%	1.1%	12.5%	17.1%	41.6%	33.9%	26.7%	33.9%	17.9%	13.6%
工学部	0.4%	0.6%	1.9%	2.4%	12.1%	15.6%	32.8%	34.2%	33.4%	28.2%	19.4%	19.0%
歯学部	6.5%	0.0%	8.7%	0.0%	17.4%	34.8%	39.1%	39.1%	19.6%	21.7%	8.7%	4.3%
水産学部	1.4%	0.0%	6.3%	2.9%	16.0%	18.2%	31.9%	37.2%	29.9%	32.1%	14.6%	9.5%
農学部	0.0%	0.0%	0.9%	1.5%	13.7%	13.7%	33.6%	31.0%	29.9%	30.5%	21.8%	23.4%
法文学部	0.5%	0.3%	2.9%	3.5%	15.5%	16.1%	38.2%	38.0%	28.3%	28.4%	14.4%	13.7%
理学部	0.0%	0.0%	1.5%	3.3%	14.8%	17.8%	34.2%	39.4%	30.1%	26.1%	19.4%	13.3%
全学	0.6%	0.3%	2.5%	2.3%	13.9%	16.2%	36.6%	36.1%	29.3%	29.3%	17.2%	15.8%

[C] 英語の音読に関して ※黙読は除外してください

1. 辞書から発音記号・アクセントを調べ、正しく発音する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	23	5	38	24	89	51	57	29	22	9	4	5
共同獣医学部	4	1	8	10	8	14	6	4			3	1
教育学部	17	13	48	54	128	140	60	52	38	16	5	5
工学部	13	13	67	64	183	202	128	135	58	47	15	7
歯学部	10	2	6	1	11	13	15	7	3		1	
水産学部	9	8	19	17	45	68	41	30	22	12	8	2
農学部	7	8	34	32	72	102	53	40	35	12	10	3
法文学部	25	14	58	64	149	169	97	72	32	19	13	4
理学部	9	5	28	26	82	86	49	39	18	19	10	5
全学	117	69	306	292	767	845	506	408	228	134	69	32

1. 辞書から発音記号・アクセントを調べ、正しく発音する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	9.9%	4.1%	16.3%	19.5%	38.2%	41.5%	24.5%	23.6%	9.4%	7.3%	1.7%	4.1%
共同獣医学部	13.8%	3.3%	27.6%	33.3%	27.6%	46.7%	20.7%	13.3%	0.0%	0.0%	10.3%	3.3%
教育学部	5.7%	4.6%	16.2%	19.3%	43.2%	50.0%	20.3%	18.6%	12.8%	5.7%	1.7%	1.8%
工学部	2.8%	2.8%	14.4%	13.7%	39.4%	43.2%	27.6%	28.8%	12.5%	10.0%	3.2%	1.5%
歯学部	21.7%	8.7%	13.0%	4.3%	23.9%	56.5%	32.6%	30.4%	6.5%	0.0%	2.2%	0.0%
水産学部	6.3%	5.8%	13.2%	12.4%	31.3%	49.6%	28.5%	21.9%	15.3%	8.8%	5.6%	1.5%
農学部	3.3%	4.1%	16.1%	16.2%	34.1%	51.8%	25.1%	20.3%	16.6%	6.1%	4.7%	1.5%
法文学部	6.7%	4.1%	15.5%	18.7%	39.8%	49.4%	25.9%	21.1%	8.6%	5.6%	3.5%	1.2%
理学部	4.6%	2.8%	14.3%	14.4%	41.8%	47.8%	25.0%	21.7%	9.2%	10.6%	5.1%	2.8%
全学	5.9%	3.9%	15.4%	16.4%	38.5%	47.5%	25.4%	22.9%	11.4%	7.5%	3.5%	1.8%

2. 英文の意味や文構造から考えて、適切に区切りながら読んでいく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	21	5	50	24	110	51	40	29	11	9	1	5
共同獣医学部	3	1	10	10	8	14	5	4	1		2	1
教育学部	18	13	48	54	142	140	64	52	20	16	4	5
工学部	13	13	88	64	203	202	107	135	38	47	15	7
歯学部	10	2	9	1	15	13	8	7	3		1	
水産学部	8	8	25	17	58	68	34	30	14	12	5	2
農学部	7	8	37	32	101	102	43	40	17	12	6	3
法文学部	29	14	61	64	179	169	80	72	22	19	3	4
理学部	8	5	31	26	97	86	36	39	19	19	5	5
全学	117	69	359	292	913	845	417	408	145	134	42	32

2. 英文の意味や文構造から考えて、適切に区切りながら読んでいく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	9.0%	4.1%	21.5%	19.5%	47.2%	41.5%	17.2%	23.6%	4.7%	7.3%	0.4%	4.1%
共同獣医学部	10.3%	3.3%	34.5%	33.3%	27.6%	46.7%	17.2%	13.3%	3.4%	0.0%	6.9%	3.3%
教育学部	6.1%	4.6%	16.2%	19.3%	48.0%	50.0%	21.6%	18.6%	6.8%	5.7%	1.4%	1.8%
工学部	2.8%	2.8%	19.0%	13.7%	43.8%	43.2%	23.1%	28.8%	8.2%	10.0%	3.2%	1.5%
歯学部	21.7%	8.7%	19.6%	4.3%	32.6%	56.5%	17.4%	30.4%	6.5%	0.0%	2.2%	0.0%
水産学部	5.6%	5.8%	17.4%	12.4%	40.3%	49.6%	23.6%	21.9%	9.7%	8.8%	3.5%	1.5%
農学部	3.3%	4.1%	17.5%	16.2%	47.9%	51.8%	20.4%	20.3%	8.1%	6.1%	2.8%	1.5%
法文学部	7.8%	4.1%	16.3%	18.7%	47.9%	49.4%	21.4%	21.1%	5.9%	5.6%	0.8%	1.2%
理学部	4.1%	2.8%	15.8%	14.4%	49.5%	47.8%	18.4%	21.7%	9.7%	10.6%	2.6%	2.8%
全学	5.9%	3.9%	18.0%	16.4%	45.8%	47.5%	20.9%	22.9%	7.3%	7.5%	2.1%	1.8%

3. つまったりせず、wpm(1分単位の音読スピード)を意識してスムーズに読んでいく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	7	2	28	13	86	47	86	36	23	16	3	9
共同獣医学部	1	1	6	5	10	9	7	10	3	3	2	2
教育学部	6	2	23	29	70	91	123	100	61	46	13	12
工学部	8	11	32	18	109	142	190	180	98	89	27	28
歯学部	6		6		13	14	15	7	4	1	2	1
水産学部	2	2	12	9	38	42	51	49	30	28	11	7
農学部	1	3	13	12	60	56	80	78	41	38	16	10
法文学部	6	3	31	31	119	100	157	140	48	53	13	15
理学部	6		7	12	38	46	81	77	48	38	16	7
全学	43	24	158	129	543	547	790	677	356	312	103	91

3. つまったりせず、wpm(1分単位の音読スピード)を意識してスムーズに読んでいく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3.0%	1.6%	12.0%	10.6%	36.9%	38.2%	36.9%	29.3%	9.9%	13.0%	1.3%	7.3%
共同獣医学部	3.4%	3.3%	20.7%	16.7%	34.5%	30.0%	24.1%	33.3%	10.3%	10.0%	6.9%	6.7%
教育学部	2.0%	0.7%	7.8%	10.4%	23.6%	32.5%	41.6%	35.7%	20.6%	16.4%	4.4%	4.3%
工学部	1.7%	2.4%	6.9%	3.8%	23.5%	30.3%	40.9%	38.5%	21.1%	19.0%	5.8%	6.0%
歯学部	13.0%	0.0%	13.0%	0.0%	28.3%	60.9%	32.6%	30.4%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%
水産学部	1.4%	1.5%	8.3%	6.6%	26.4%	30.7%	35.4%	35.8%	20.8%	20.4%	7.6%	5.1%
農学部	0.5%	1.5%	6.2%	6.1%	28.4%	28.4%	37.9%	39.6%	19.4%	19.3%	7.6%	5.1%
法文学部	1.6%	0.9%	8.3%	9.1%	31.8%	29.2%	42.0%	40.9%	12.8%	15.5%	3.5%	4.4%
理学部	3.1%	0.0%	3.6%	6.7%	19.4%	25.6%	41.3%	42.8%	24.5%	21.1%	8.2%	3.9%
全学	2.2%	1.3%	7.9%	7.2%	27.2%	30.7%	39.6%	38.0%	17.9%	17.5%	5.2%	5.1%

4. リエゾン(発音記号の連結)ルールを見つけ、連結発音を入れながら読んでいく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3	2	21	6	60	34	98	51	37	19	14	11
共同獣医学部	1		6	6	8	8	9	9	3	5	2	2
教育学部	5	1	19	29	53	80	128	103	73	56	18	11
工学部	3	6	23	20	77	99	201	197	102	107	58	39
歯学部	5		6	1	13	9	13	9	7	4	2	
水産学部	1	1	7	5	28	49	62	54	28	20	18	8
農学部	1	1	8	11	41	52	75	72	61	42	25	19
法文学部	3	2	25	26	89	86	156	144	81	68	20	16
理学部		2	10	10	29	38	81	76	54	37	22	17
全学	22	15	125	114	398	455	823	715	446	358	179	123

4. リエゾン(発音記号の連結)ルールを見つけ、連結発音を入れながら読んでいく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1.3%	1.6%	9.0%	4.9%	25.8%	27.6%	42.1%	41.5%	15.9%	15.4%	6.0%	8.9%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	20.7%	20.0%	27.6%	26.7%	31.0%	30.0%	10.3%	16.7%	6.9%	6.7%
教育学部	1.7%	0.4%	6.4%	10.4%	17.9%	28.6%	43.2%	36.8%	24.7%	20.0%	6.1%	3.9%
工学部	0.6%	1.3%	5.0%	4.3%	16.6%	21.2%	43.3%	42.1%	22.0%	22.9%	12.5%	8.3%
歯学部	10.9%	0.0%	13.0%	4.3%	28.3%	39.1%	28.3%	39.1%	15.2%	17.4%	4.3%	0.0%
水産学部	0.7%	0.7%	4.9%	3.6%	19.4%	35.8%	43.1%	39.4%	19.4%	14.6%	12.5%	5.8%
農学部	0.5%	0.5%	3.8%	5.6%	19.4%	26.4%	35.5%	36.5%	28.9%	21.3%	11.8%	9.6%
法文学部	0.8%	0.6%	6.7%	7.6%	23.8%	25.1%	41.7%	42.1%	21.7%	19.9%	5.3%	4.7%
理学部	0.0%	1.1%	5.1%	5.6%	14.8%	21.1%	41.3%	42.2%	27.6%	20.6%	11.2%	9.4%
全学	1.1%	0.8%	6.3%	6.4%	20.0%	25.6%	41.3%	40.2%	22.4%	20.1%	9.0%	6.9%

5. 気持ちや感情を示すため、単語や英文に意識的に音声変化をつけて読んでいく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	5	2	26	9	73	35	80	51	35	17	14	9
共同獣医学部			7	5	5	9	9	11	6	4	2	1
教育学部	10	3	20	24	94	98	100	106	60	35	12	14
工学部	3	5	25	22	123	125	166	177	105	105	42	34
歯学部	5		4	1	11	8	17	7	7	7	2	
水産学部	5		8	12	37	47	50	51	30	16	14	11
農学部	2	1	10	9	48	48	78	75	52	45	21	19
法文学部	9	4	23	22	114	107	150	120	59	72	19	17
理学部	5	3	13	15	51	46	63	65	48	34	16	17
全学	44	18	136	119	556	523	713	663	402	335	142	122

5. 気持ちや感情を示すため、単語や英文に意識的に音声変化をつけて読んでいく												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2.1%	1.6%	11.2%	7.3%	31.3%	28.5%	34.3%	41.5%	15.0%	13.8%	6.0%	7.3%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	24.1%	16.7%	17.2%	30.0%	31.0%	36.7%	20.7%	13.3%	6.9%	3.3%
教育学部	3.4%	1.1%	6.8%	8.6%	31.8%	35.0%	33.8%	37.9%	20.3%	12.5%	4.1%	5.0%
工学部	0.6%	1.1%	5.4%	4.7%	26.5%	26.7%	35.8%	37.8%	22.6%	22.4%	9.1%	7.3%
歯学部	10.9%	0.0%	8.7%	4.3%	23.9%	34.8%	37.0%	30.4%	15.2%	30.4%	4.3%	0.0%
水産学部	3.5%	0.0%	5.6%	8.8%	25.7%	34.3%	34.7%	37.2%	20.8%	11.7%	9.7%	8.0%
農学部	0.9%	0.5%	4.7%	4.6%	22.7%	24.4%	37.0%	38.1%	24.6%	22.8%	10.0%	9.6%
法文学部	2.4%	1.2%	6.1%	6.4%	30.5%	31.3%	40.1%	35.1%	15.8%	21.1%	5.1%	5.0%
理学部	2.6%	1.7%	6.6%	8.3%	26.0%	25.6%	32.1%	36.1%	24.5%	18.9%	8.2%	9.4%
全学	2.2%	1.0%	6.8%	6.7%	27.9%	29.4%	35.8%	37.2%	20.2%	18.8%	7.1%	6.9%

[D] 英語による発話や表現に関して

1. アイコンタクトを入れながら発話する口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	14	5	30	8	104	51	58	42	23	12	4	5
共同獣医学部	1		4	3	12	10	6	12	4	3	2	2
教育学部	10	12	37	35	129	126	81	75	32	30	7	2
工学部	6	18	38	33	165	187	145	128	87	84	23	18
歯学部	8	1	5	1	14	10	14	9	3	2	2	
水産学部	5	7	25	13	58	58	27	36	18	18	11	5
農学部	5	3	21	17	73	83	67	55	31	31	14	8
法文学部	10	5	30	36	141	144	120	112	52	35	21	10
理学部	4	7	19	19	71	65	55	50	36	31	11	8
全学	63	58	209	165	767	734	573	519	286	246	95	58

1. アイコンタクトを入れながら発話する口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	6.0%	4.1%	12.9%	6.5%	44.6%	41.5%	24.9%	34.1%	9.9%	9.8%	1.7%	4.1%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	13.8%	10.0%	41.4%	33.3%	20.7%	40.0%	13.8%	10.0%	6.9%	6.7%
教育学部	3.4%	4.3%	12.5%	12.5%	43.6%	45.0%	27.4%	26.8%	10.8%	10.7%	2.4%	0.7%
工学部	1.3%	3.8%	8.2%	7.1%	35.6%	40.0%	31.3%	27.4%	18.8%	17.9%	5.0%	3.8%
歯学部	17.4%	4.3%	10.9%	4.3%	30.4%	43.5%	30.4%	39.1%	6.5%	8.7%	4.3%	0.0%
水産学部	3.5%	5.1%	17.4%	9.5%	40.3%	42.3%	18.8%	26.3%	12.5%	13.1%	7.6%	3.6%
農学部	2.4%	1.5%	10.0%	8.6%	34.6%	42.1%	31.8%	27.9%	14.7%	15.7%	6.6%	4.1%
法文学部	2.7%	1.5%	8.0%	10.5%	37.7%	42.1%	32.1%	32.7%	13.9%	10.2%	5.6%	2.9%
理学部	2.0%	3.9%	9.7%	10.6%	36.2%	36.1%	28.1%	27.8%	18.4%	17.2%	5.6%	4.4%
全学	3.2%	3.3%	10.5%	9.3%	38.5%	41.2%	28.8%	29.2%	14.4%	13.8%	4.8%	3.3%

2. 顔の表情を入れながら発話する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	7	5	23	9	77	36	92	50	28	16	6	7
共同獣医学部	2		2	2	12	10	4	11	7	5	2	2
教育学部	8	8	37	29	105	105	96	96	40	38	10	4
工学部	10	14	31	27	133	133	149	179	112	88	29	27
歯学部	6	1	5	2	14	9	15	9	4	2	2	
水産学部	8	6	21	12	43	52	37	40	21	17	14	10
農学部	7	4	11	13	64	56	78	77	37	37	14	10
法文学部	7	8	30	28	115	115	131	125	67	52	24	14
理学部	7	7	12	19	53	53	71	59	37	35	16	7
全学	62	53	172	141	616	569	673	646	353	290	117	81

2. 顔の表情を入れながら発話する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3.0%	4.1%	9.9%	7.3%	33.0%	29.3%	39.5%	40.7%	12.0%	13.0%	2.6%	5.7%
共同獣医学部	6.9%	0.0%	6.9%	6.7%	41.4%	33.3%	13.8%	36.7%	24.1%	16.7%	6.9%	6.7%
教育学部	2.7%	2.9%	12.5%	10.4%	35.5%	37.5%	32.4%	34.3%	13.5%	13.6%	3.4%	1.4%
工学部	2.2%	3.0%	6.7%	5.8%	28.7%	28.4%	32.1%	38.2%	24.1%	18.8%	6.3%	5.8%
歯学部	13.0%	4.3%	10.9%	8.7%	30.4%	39.1%	32.6%	39.1%	8.7%	8.7%	4.3%	0.0%
水産学部	5.6%	4.4%	14.6%	8.8%	29.9%	38.0%	25.7%	29.2%	14.6%	12.4%	9.7%	7.3%
農学部	3.3%	2.0%	5.2%	6.6%	30.3%	28.4%	37.0%	39.1%	17.5%	18.8%	6.6%	5.1%
法文学部	1.9%	2.3%	8.0%	8.2%	30.7%	33.6%	35.0%	36.5%	17.9%	15.2%	6.4%	4.1%
理学部	3.6%	3.9%	6.1%	10.6%	27.0%	29.4%	36.2%	32.8%	18.9%	19.4%	8.2%	3.9%
全学	3.1%	3.0%	8.6%	7.9%	30.9%	32.0%	33.8%	36.3%	17.7%	16.3%	5.9%	4.6%

3. 指や手の動きを入れながら発話する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	11	2	30	15	100	50	61	39	25	14	6	3
共同獣医学部	1		5	5	11	11	4	12	6		2	2
教育学部	15	11	37	35	123	124	86	74	28	31	7	5
工学部	14	17	38	39	181	193	129	122	81	74	21	23
歯学部	7	1	6	2	13	10	17	8	2	2	1	
水産学部	13	12	20	17	67	55	21	33	15	11	8	9
農学部	7	5	24	15	76	72	61	64	31	28	12	13
法文学部	11	10	36	42	150	149	103	94	56	39	18	8
理学部	8	8	20	20	74	76	58	50	26	21	10	5
全学	87	66	216	190	795	740	540	496	270	220	85	68

3. 指や手の動きを入れながら発話する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	4.7%	1.6%	12.9%	12.2%	42.9%	40.7%	26.2%	31.7%	10.7%	11.4%	2.6%	2.4%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	17.2%	16.7%	37.9%	36.7%	13.8%	40.0%	20.7%	0.0%	6.9%	6.7%
教育学部	5.1%	3.9%	12.5%	12.5%	41.6%	44.3%	29.1%	26.4%	9.5%	11.1%	2.4%	1.8%
工学部	3.0%	3.6%	8.2%	8.3%	39.0%	41.2%	27.8%	26.1%	17.5%	15.8%	4.5%	4.9%
歯学部	15.2%	4.3%	13.0%	8.7%	28.3%	43.5%	37.0%	34.8%	4.3%	8.7%	2.2%	0.0%
水産学部	9.0%	8.8%	13.9%	12.4%	46.5%	40.1%	14.6%	24.1%	10.4%	8.0%	5.6%	6.6%
農学部	3.3%	2.5%	11.4%	7.6%	36.0%	36.5%	28.9%	32.5%	14.7%	14.2%	5.7%	6.6%
法文学部	2.9%	2.9%	9.6%	12.3%	40.1%	43.6%	27.5%	27.5%	15.0%	11.4%	4.8%	2.3%
理学部	4.1%	4.4%	10.2%	11.1%	37.8%	42.2%	29.6%	27.8%	13.3%	11.7%	5.1%	2.8%
全学	4.4%	3.7%	10.8%	10.7%	39.9%	41.6%	27.1%	27.9%	13.5%	12.4%	4.3%	3.8%

4. 内容や気持ちを表すために、体の動きも使って発話する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	9	2	20	7	73	41	91	53	33	14	7	6
共同獣医学部	1		4	3	13	12	2	12	7	2	2	1
教育学部	11	9	31	25	91	92	113	107	40	42	10	5
工学部	5	12	37	29	140	154	153	161	104	85	25	27
歯学部	8	1	3	1	14	10	16	8	4	3	1	
水産学部	9	11	20	18	58	46	34	39	13	15	10	8
農学部	5	5	18	14	54	57	79	66	40	41	15	14
法文学部	11	6	35	33	104	124	135	119	70	47	19	13
理学部	6	6	16	22	57	55	68	64	36	26	13	7
全学	65	52	184	152	604	591	691	629	347	275	102	81

4. 内容や気持ちを表すために、体の動きも使って発話する												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3.9%	1.6%	8.6%	5.7%	31.3%	33.3%	39.1%	43.1%	14.2%	11.4%	3.0%	4.9%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	13.8%	10.0%	44.8%	40.0%	6.9%	40.0%	24.1%	6.7%	6.9%	3.3%
教育学部	3.7%	3.2%	10.5%	8.9%	30.7%	32.9%	38.2%	38.2%	13.5%	15.0%	3.4%	1.8%
工学部	1.1%	2.6%	8.0%	6.2%	30.2%	32.9%	33.0%	34.4%	22.4%	18.2%	5.4%	5.8%
歯学部	17.4%	4.3%	6.5%	4.3%	30.4%	43.5%	34.8%	34.8%	8.7%	13.0%	2.2%	0.0%
水産学部	6.3%	8.0%	13.9%	13.1%	40.3%	33.6%	23.6%	28.5%	9.0%	10.9%	6.9%	5.8%
農学部	2.4%	2.5%	8.5%	7.1%	25.6%	28.9%	37.4%	33.5%	19.0%	20.8%	7.1%	7.1%
法文学部	2.9%	1.8%	9.4%	9.6%	27.8%	36.3%	36.1%	34.8%	18.7%	13.7%	5.1%	3.8%
理学部	3.1%	3.3%	8.2%	12.2%	29.1%	30.6%	34.7%	35.6%	18.4%	14.4%	6.6%	3.9%
全学	3.3%	2.9%	9.2%	8.5%	30.3%	33.2%	34.7%	35.3%	17.4%	15.4%	5.1%	4.6%

5. 性別、年齢、出身地や出身高校を英語で言う口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	68	14	72	25	77	62	12	15	3	6	1	1
共同獣医学部	5	5	8	8	10	15	4	1			2	1
教育学部	66	54	91	78	108	125	22	15	6	6	3	2
工学部	96	83	117	109	185	207	49	52	13	14	4	3
歯学部	17	7	12	3	13	10	3	3	1			
水産学部	39	36	36	33	60	54	4	10	1	4	4	
農学部	41	39	63	61	77	74	21	12	8	10	1	1
法文学部	99	63	115	97	129	148	20	24	10	8	1	2
理学部	44	33	56	46	73	69	16	20	4	11	3	1
全学	475	334	570	460	732	764	151	152	46	59	19	11

5. 性別、年齢、出身地や出身高校を英語で言う口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	29.2%	11.4%	30.9%	20.3%	33.0%	50.4%	5.2%	12.2%	1.3%	4.9%	0.4%	0.8%
共同獣医学部	17.2%	16.7%	27.6%	26.7%	34.5%	50.0%	13.8%	3.3%	0.0%	0.0%	6.9%	3.3%
教育学部	22.3%	19.3%	30.7%	27.9%	36.5%	44.6%	7.4%	5.4%	2.0%	2.1%	1.0%	0.7%
工学部	20.7%	17.7%	25.2%	23.3%	39.9%	44.2%	10.6%	11.1%	2.8%	3.0%	0.9%	0.6%
歯学部	37.0%	30.4%	26.1%	13.0%	28.3%	43.5%	6.5%	13.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
水産学部	27.1%	26.3%	25.0%	24.1%	41.7%	39.4%	2.8%	7.3%	0.7%	2.9%	2.8%	0.0%
農学部	19.4%	19.8%	29.9%	31.0%	36.5%	37.6%	10.0%	6.1%	3.8%	5.1%	0.5%	0.5%
法文学部	26.5%	18.4%	30.7%	28.4%	34.5%	43.3%	5.3%	7.0%	2.7%	2.3%	0.3%	0.6%
理学部	22.4%	18.3%	28.6%	25.6%	37.2%	38.3%	8.2%	11.1%	2.0%	6.1%	1.5%	0.6%
全学	23.8%	18.8%	28.6%	25.8%	36.7%	42.9%	7.6%	8.5%	2.3%	3.3%	1.0%	0.6%

6. 大学に関する所属や専攻(大学名、学部、学科、学年)を英語で言う												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	47	12	46	17	74	56	55	25	9	11	2	2
共同獣医学部	1	4	8	4	9	17	6	4	3		2	1
教育学部	34	30	59	65	111	123	68	47	17	12	7	3
工学部	38	41	78	84	165	178	119	116	48	39	16	10
歯学部	11	7	11	1	17	11	6	3	1	1		
水産学部	13	14	22	23	49	57	39	31	13	10	8	2
農学部	9	14	35	39	70	82	55	37	33	18	9	7
法文学部	42	31	86	59	122	133	85	78	30	34	9	7
理学部	14	9	37	36	74	68	42	43	23	22	6	2
全学	209	162	382	328	691	725	475	384	177	147	59	34

6. 大学に関する所属や専攻(大学名、学部、学科、学年)を英語で言う												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	20.2%	9.8%	19.7%	13.8%	31.8%	45.5%	23.6%	20.3%	3.9%	8.9%	0.9%	1.6%
共同獣医学部	3.4%	13.3%	27.6%	13.3%	31.0%	56.7%	20.7%	13.3%	10.3%	0.0%	6.9%	3.3%
教育学部	11.5%	10.7%	19.9%	23.2%	37.5%	43.9%	23.0%	16.8%	5.7%	4.3%	2.4%	1.1%
工学部	8.2%	8.8%	16.8%	17.9%	35.6%	38.0%	25.6%	24.8%	10.3%	8.3%	3.4%	2.1%
歯学部	23.9%	30.4%	23.9%	4.3%	37.0%	47.8%	13.0%	13.0%	2.2%	4.3%	0.0%	0.0%
水産学部	9.0%	10.2%	15.3%	16.8%	34.0%	41.6%	27.1%	22.6%	9.0%	7.3%	5.6%	1.5%
農学部	4.3%	7.1%	16.6%	19.8%	33.2%	41.6%	26.1%	18.8%	15.6%	9.1%	4.3%	3.6%
法文学部	11.2%	9.1%	23.0%	17.3%	32.6%	38.9%	22.7%	22.8%	8.0%	9.9%	2.4%	2.0%
理学部	7.1%	5.0%	18.9%	20.0%	37.8%	37.8%	21.4%	23.9%	11.7%	12.2%	3.1%	1.1%
全学	10.5%	9.1%	19.2%	18.4%	34.7%	40.7%	23.8%	21.6%	8.9%	8.3%	3.0%	1.9%

7. 何を専門的に学んでいきたいか、研究テーマと理由を英語で言う口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	13	1	15	7	61	27	87	59	44	16	13	13
共同獣医学部			2	2	9	9	7	11	8	7	3	1
教育学部	4	3	14	25	75	103	114	100	63	35	26	14
工学部	8	12	28	29	87	86	147	173	129	115	65	53
歯学部	1	1	6	1	15	7	14	8	9	6	1	
水産学部	1		8	6	26	23	55	63	30	29	24	16
農学部	1	4	7	10	34	34	72	78	71	45	26	26
法文学部	10	6	28	21	79	92	145	127	86	69	26	27
理学部	4	6	18	9	35	50	76	67	39	34	24	14
全学	42	33	126	110	421	431	717	686	479	356	208	164

7. 何を専門的に学んでいきたいか、研究テーマと理由を英語で言う口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	5.6%	0.8%	6.4%	5.7%	26.2%	22.0%	37.3%	48.0%	18.9%	13.0%	5.6%	10.6%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	6.9%	6.7%	31.0%	30.0%	24.1%	36.7%	27.6%	23.3%	10.3%	3.3%
教育学部	1.4%	1.1%	4.7%	8.9%	25.3%	36.8%	38.5%	35.7%	21.3%	12.5%	8.8%	5.0%
工学部	1.7%	2.6%	6.0%	6.2%	18.8%	18.4%	31.7%	37.0%	27.8%	24.6%	14.0%	11.3%
歯学部	2.2%	4.3%	13.0%	4.3%	32.6%	30.4%	30.4%	34.8%	19.6%	26.1%	2.2%	0.0%
水産学部	0.7%	0.0%	5.6%	4.4%	18.1%	16.8%	38.2%	46.0%	20.8%	21.2%	16.7%	11.7%
農学部	0.5%	2.0%	3.3%	5.1%	16.1%	17.3%	34.1%	39.6%	33.6%	22.8%	12.3%	13.2%
法文学部	2.7%	1.8%	7.5%	6.1%	21.1%	26.9%	38.8%	37.1%	23.0%	20.2%	7.0%	7.9%
理学部	2.0%	3.3%	9.2%	5.0%	17.9%	27.8%	38.8%	37.2%	19.9%	18.9%	12.2%	7.8%
全学	2.1%	1.9%	6.3%	6.2%	21.1%	24.2%	36.0%	38.5%	24.0%	20.0%	10.4%	9.2%

8. 卒業後はどのような進路を計画しているか、理由を含めて英語で言う												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	12	1	17	8	82	28	71	44	40	28	11	14
共同獣医学部			2	2	7	9	11	10	5	7	4	2
教育学部	8	10	36	32	82	95	93	77	57	48	20	18
工学部	6	14	29	27	98	99	122	139	135	121	74	68
歯学部	1	1	2	3	20	3	16	11	5	4	2	1
水産学部	3	1	7	7	29	24	55	51	26	34	24	20
農学部		2	11	11	38	26	65	69	60	54	37	35
法文学部	13	1	30	25	88	97	123	111	81	72	39	36
理学部	5	6	15	8	43	45	60	73	51	28	22	20
全学	48	36	149	123	487	426	616	585	460	396	233	214

8. 卒業後はどのような進路を計画しているか、理由を含めて英語で言う												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	5.2%	0.8%	7.3%	6.5%	35.2%	22.8%	30.5%	35.8%	17.2%	22.8%	4.7%	11.4%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	6.9%	6.7%	24.1%	30.0%	37.9%	33.3%	17.2%	23.3%	13.8%	6.7%
教育学部	2.7%	3.6%	12.2%	11.4%	27.7%	33.9%	31.4%	27.5%	19.3%	17.1%	6.8%	6.4%
工学部	1.3%	3.0%	6.3%	5.8%	21.1%	21.2%	26.3%	29.7%	29.1%	25.9%	15.9%	14.5%
歯学部	2.2%	4.3%	4.3%	13.0%	43.5%	13.0%	34.8%	47.8%	10.9%	17.4%	4.3%	4.3%
水産学部	2.1%	0.7%	4.9%	5.1%	20.1%	17.5%	38.2%	37.2%	18.1%	24.8%	16.7%	14.6%
農学部	0.0%	1.0%	5.2%	5.6%	18.0%	13.2%	30.8%	35.0%	28.4%	27.4%	17.5%	17.8%
法文学部	3.5%	0.3%	8.0%	7.3%	23.5%	28.4%	32.9%	32.5%	21.7%	21.1%	10.4%	10.5%
理学部	2.6%	3.3%	7.7%	4.4%	21.9%	25.0%	30.6%	40.6%	26.0%	15.6%	11.2%	11.1%
全学	2.4%	2.0%	7.5%	6.9%	24.4%	23.9%	30.9%	32.9%	23.1%	22.2%	11.7%	12.0%

9. 具体的にめざすべき大学生像と、その理由や目的を英語で言う口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	8	1	18	4	58	25	82	46	48	31	19	16
共同獣医学部			1	1	7	8	9	11	8	8	4	2
教育学部	2	3	12	16	63	61	116	118	72	58	31	24
工学部	4	6	16	21	76	64	136	155	162	145	70	77
歯学部	1	1	2		14	5	21	13	6	4	2	
水産学部			7	7	14	27	67	47	32	34	24	22
農学部			1	4	31	23	74	68	66	66	39	36
法文学部		1	14	19	80	68	143	125	95	86	42	43
理学部	1	2	6	6	30	28	69	76	61	42	29	26
全学	16	14	77	78	373	309	717	659	550	474	260	246

9. 具体的にめざすべき大学生像と、その理由や目的を英語で言う口												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3.4%	0.8%	7.7%	3.3%	24.9%	20.3%	35.2%	37.4%	20.6%	25.2%	8.2%	13.0%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	3.3%	24.1%	26.7%	31.0%	36.7%	27.6%	26.7%	13.8%	6.7%
教育学部	0.7%	1.1%	4.1%	5.7%	21.3%	21.8%	39.2%	42.1%	24.3%	20.7%	10.5%	8.6%
工学部	0.9%	1.3%	3.4%	4.5%	16.4%	13.7%	29.3%	33.1%	34.9%	31.0%	15.1%	16.5%
歯学部	2.2%	4.3%	4.3%	0.0%	30.4%	21.7%	45.7%	56.5%	13.0%	17.4%	4.3%	0.0%
水産学部	0.0%	0.0%	4.9%	5.1%	9.7%	19.7%	46.5%	34.3%	22.2%	24.8%	16.7%	16.1%
農学部	0.0%	0.0%	0.5%	2.0%	14.7%	11.7%	35.1%	34.5%	31.3%	33.5%	18.5%	18.3%
法文学部	0.0%	0.3%	3.7%	5.6%	21.4%	19.9%	38.2%	36.5%	25.4%	25.1%	11.2%	12.6%
理学部	0.5%	1.1%	3.1%	3.3%	15.3%	15.6%	35.2%	42.2%	31.1%	23.3%	14.8%	14.4%
全学	0.8%	0.8%	3.9%	4.4%	18.7%	17.4%	36.0%	37.0%	27.6%	26.6%	13.0%	13.8%

10. どのような価値観や信念をもっているか(またはもつべきか)、英語で言う												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	5	1	9	5	60	27	80	44	57	28	22	18
共同獣医学部			1	1	5	9	10	10	10	8	3	2
教育学部	3	1	7	9	58	56	110	115	81	70	37	29
工学部	2	4	17	21	76	67	146	158	139	134	84	84
歯学部	2		3		10	4	24	12	5	7	2	
水産学部	4	2	6	8	18	29	55	49	33	31	28	18
農学部			5	3	29	21	67	66	63	65	47	42
法文学部	3	2	14	14	71	80	132	111	113	88	41	47
理学部	4	4	7	4	33	25	58	74	65	51	29	22
全学	23	14	69	65	360	318	682	639	566	482	293	262

10. どのような価値観や信念をもっているか(またはもつべきか)、英語で言う												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2.1%	0.8%	3.9%	4.1%	25.8%	22.0%	34.3%	35.8%	24.5%	22.8%	9.4%	14.6%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	3.3%	17.2%	30.0%	34.5%	33.3%	34.5%	26.7%	10.3%	6.7%
教育学部	1.0%	0.4%	2.4%	3.2%	19.6%	20.0%	37.2%	41.1%	27.4%	25.0%	12.5%	10.4%
工学部	0.4%	0.9%	3.7%	4.5%	16.4%	14.3%	31.5%	33.8%	30.0%	28.6%	18.1%	17.9%
歯学部	4.3%	0.0%	6.5%	0.0%	21.7%	17.4%	52.2%	52.2%	10.9%	30.4%	4.3%	0.0%
水産学部	2.8%	1.5%	4.2%	5.8%	12.5%	21.2%	38.2%	35.8%	22.9%	22.6%	19.4%	13.1%
農学部	0.0%	0.0%	2.4%	1.5%	13.7%	10.7%	31.8%	33.5%	29.9%	33.0%	22.3%	21.3%
法文学部	0.8%	0.6%	3.7%	4.1%	19.0%	23.4%	35.3%	32.5%	30.2%	25.7%	11.0%	13.7%
理学部	2.0%	2.2%	3.6%	2.2%	16.8%	13.9%	29.6%	41.1%	33.2%	28.3%	14.8%	12.2%
全学	1.2%	0.8%	3.5%	3.7%	18.1%	17.9%	34.2%	35.9%	28.4%	27.1%	14.7%	14.7%

<Part II>(外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠日本人学習者用:CEFR-J)(14問)質問番号の後のカッコ内の記号と番号は無視してください(内容と関係ありません)。

[A] 書くこと(英語)

1. (B1.1) 自分に直接関わりのある環境(学校、職場、地域など)での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法をもちいて、まとまりのある書き方で描写することができる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1		14	5	103	41	73	47	36	21	6	9
共同獣医学部			2	2	11	18	8	6	6	2	2	2
教育学部	1		14	12	96	93	110	117	61	44	14	14
工学部	2	3	18	15	116	129	188	175	110	120	30	26
歯学部	1		3		19	8	17	12	5	3	1	
水産学部	1	1	6	9	57	54	48	47	21	21	11	5
農学部	1	1	7	11	71	59	68	70	51	43	13	13
法文学部			24	20	148	139	131	121	60	50	11	12
理学部	1	2	3	5	68	65	70	66	38	29	16	13
全学	8	7	91	79	689	606	713	661	388	333	104	94

1. (B1.1) 自分に直接関わりのある環境(学校、職場、地域など)での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法をもちいて、まとまりのある書き方で描写することができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.4%	0.0%	6.0%	4.1%	44.2%	33.3%	31.3%	38.2%	15.5%	17.1%	2.6%	7.3%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	6.9%	6.7%	37.9%	60.0%	27.6%	20.0%	20.7%	6.7%	6.9%	6.7%
教育学部	0.3%	0.0%	4.7%	4.3%	32.4%	33.2%	37.2%	41.8%	20.6%	15.7%	4.7%	5.0%
工学部	0.4%	0.6%	3.9%	3.2%	25.0%	27.6%	40.5%	37.4%	23.7%	25.6%	6.5%	5.6%
歯学部	2.2%	0.0%	6.5%	0.0%	41.3%	34.8%	37.0%	52.2%	10.9%	13.0%	2.2%	0.0%
水産学部	0.7%	0.7%	4.2%	6.6%	39.6%	39.4%	33.3%	34.3%	14.6%	15.3%	7.6%	3.6%
農学部	0.5%	0.5%	3.3%	5.6%	33.6%	29.9%	32.2%	35.5%	24.2%	21.8%	6.2%	6.6%
法文学部	0.0%	0.0%	6.4%	5.8%	39.6%	40.6%	35.0%	35.4%	16.0%	14.6%	2.9%	3.5%
理学部	0.5%	1.1%	1.5%	2.8%	34.7%	36.1%	35.7%	36.7%	19.4%	16.1%	8.2%	7.2%
全学	0.4%	0.4%	4.6%	4.4%	34.6%	34.0%	35.8%	37.1%	19.5%	18.7%	5.2%	5.3%

2. (B1.2) 物事の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、いくつかのパラグラフで書くことができる。

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2		17	6	89	42	84	40	33	24	8	11
共同獣医学部	1		3	2	10	16	8	8	5	2	2	2
教育学部	3	3	11	16	109	112	100	91	55	49	18	9
工学部	3	2	16	19	134	128	160	170	110	122	41	27
歯学部	1		6	1	16	7	15	11	7	4	1	
水産学部	2		5	10	64	58	42	48	22	16	9	5
農学部	2	1	10	10	79	82	58	49	46	39	16	16
法文学部	2	1	27	28	151	158	109	88	70	54	15	13
理学部	1	1	5	7	67	67	70	51	39	41	14	13
全学	17	8	100	99	719	670	646	556	387	351	124	96

2. (B1.2) 物事の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、いくつかのパラグラフで書くことができる。

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.9%	0.0%	7.3%	4.9%	38.2%	34.1%	36.1%	32.5%	14.2%	19.5%	3.4%	8.9%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	10.3%	6.7%	34.5%	53.3%	27.6%	26.7%	17.2%	6.7%	6.9%	6.7%
教育学部	1.0%	1.1%	3.7%	5.7%	36.8%	40.0%	33.8%	32.5%	18.6%	17.5%	6.1%	3.2%
工学部	0.6%	0.4%	3.4%	4.1%	28.9%	27.4%	34.5%	36.3%	23.7%	26.1%	8.8%	5.8%
歯学部	2.2%	0.0%	13.0%	4.3%	34.8%	30.4%	32.6%	47.8%	15.2%	17.4%	2.2%	0.0%
水産学部	1.4%	0.0%	3.5%	7.3%	44.4%	42.3%	29.2%	35.0%	15.3%	11.7%	6.3%	3.6%
農学部	0.9%	0.5%	4.7%	5.1%	37.4%	41.6%	27.5%	24.9%	21.8%	19.8%	7.6%	8.1%
法文学部	0.5%	0.3%	7.2%	8.2%	40.4%	46.2%	29.1%	25.7%	18.7%	15.8%	4.0%	3.8%
理学部	0.5%	0.6%	2.6%	3.9%	34.2%	37.2%	35.7%	28.3%	19.9%	22.8%	7.1%	7.2%
全学	0.9%	0.4%	5.0%	5.6%	36.1%	37.6%	32.4%	31.2%	19.4%	19.7%	6.2%	5.4%

3. (B2.1) そのトピックについて何か自分が知っていれば、自分の考えを示しつつ、ある程度の結束性のあるエッセイやレポートを、幅広い語彙をある程度使って、書くことができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2		9	5	63	33	97	46	47	23	15	16
共同獣医学部	1		3		8	15	10	11	3	2	4	2
教育学部	1	1	7	10	57	72	122	113	91	61	18	23
工学部	1	2	12	10	71	86	185	183	148	144	47	43
歯学部	1		3		13	3	20	16	8	4	1	
水産学部	2		3	8	29	35	61	59	36	27	13	8
農学部	1		5	10	41	36	77	73	63	54	24	24
法文学部	4	1	14	13	94	92	158	136	87	81	17	19
理学部	1		3	8	39	33	83	74	47	43	23	22
全学	14	4	59	64	415	405	813	711	530	439	162	157

3. (B2.1) そのトピックについて何か自分が知っていれば、自分の考えを示しつつ、ある程度の結実性のあるエッセイやレポートを、幅広い語彙をある程度使って、書くことができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.9%	0.0%	3.9%	4.1%	27.0%	26.8%	41.6%	37.4%	20.2%	18.7%	6.4%	13.0%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	10.3%	0.0%	27.6%	50.0%	34.5%	36.7%	10.3%	6.7%	13.8%	6.7%
教育学部	0.3%	0.4%	2.4%	3.6%	19.3%	25.7%	41.2%	40.4%	30.7%	21.8%	6.1%	8.2%
工学部	0.2%	0.4%	2.6%	2.1%	15.3%	18.4%	39.9%	39.1%	31.9%	30.8%	10.1%	9.2%
歯学部	2.2%	0.0%	6.5%	0.0%	28.3%	13.0%	43.5%	69.6%	17.4%	17.4%	2.2%	0.0%
水産学部	1.4%	0.0%	2.1%	5.8%	20.1%	25.5%	42.4%	43.1%	25.0%	19.7%	9.0%	5.8%
農学部	0.5%	0.0%	2.4%	5.1%	19.4%	18.3%	36.5%	37.1%	29.9%	27.4%	11.4%	12.2%
法文学部	1.1%	0.3%	3.7%	3.8%	25.1%	26.9%	42.2%	39.8%	23.3%	23.7%	4.5%	5.6%
理学部	0.5%	0.0%	1.5%	4.4%	19.9%	18.3%	42.3%	41.1%	24.0%	23.9%	11.7%	12.2%
全学	0.7%	0.2%	3.0%	3.6%	20.8%	22.8%	40.8%	39.9%	26.6%	24.7%	8.1%	8.8%

4. (B2.2) 自分の専門分野や関心のある事柄であれば、複雑な内容を含む報告書や論文などを、その原因や結果も考えて、詳細な文章で書くことができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1	1	5	2	35	17	108	56	61	28	23	19
共同獣医学部			1	1	10	9	5	10	9	6	4	4
教育学部	2	1	4	7	29	54	112	102	106	79	43	37
工学部	2	1	8	13	56	58	158	181	158	148	82	67
歯学部	1		4	1	5	5	24	11	9	6	3	
水産学部	1		4	6	16	25	56	57	42	30	25	19
農学部	1		2	5	25	28	62	60	79	63	42	41
法文学部	1		6	9	51	61	149	123	124	106	43	43
理学部	1		3	4	31	27	73	74	54	48	34	27
全学	10	3	37	48	258	284	747	674	642	514	299	257

4. (B2.2) 自分の専門分野や関心のある事柄であれば、複雑な内容を含む報告書や論文などを、その原因や結果も考えて、詳細な文章で書くことができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.4%	0.8%	2.1%	1.6%	15.0%	13.8%	46.4%	45.5%	26.2%	22.8%	9.9%	15.4%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	3.3%	34.5%	30.0%	17.2%	33.3%	31.0%	20.0%	13.8%	13.3%
教育学部	0.7%	0.4%	1.4%	2.5%	9.8%	19.3%	37.8%	36.4%	35.8%	28.2%	14.5%	13.2%
工学部	0.4%	0.2%	1.7%	2.8%	12.1%	12.4%	34.1%	38.7%	34.1%	31.6%	17.7%	14.3%
歯学部	2.2%	0.0%	8.7%	4.3%	10.9%	21.7%	52.2%	47.8%	19.6%	26.1%	6.5%	0.0%
水産学部	0.7%	0.0%	2.8%	4.4%	11.1%	18.2%	38.9%	41.6%	29.2%	21.9%	17.4%	13.9%
農学部	0.5%	0.0%	0.9%	2.5%	11.8%	14.2%	29.4%	30.5%	37.4%	32.0%	19.9%	20.8%
法文学部	0.3%	0.0%	1.6%	2.6%	13.6%	17.8%	39.8%	36.0%	33.2%	31.0%	11.5%	12.6%
理学部	0.5%	0.0%	1.5%	2.2%	15.8%	15.0%	37.2%	41.1%	27.6%	26.7%	17.3%	15.0%
全学	0.5%	0.2%	1.9%	2.7%	12.9%	16.0%	37.5%	37.9%	32.2%	28.9%	15.0%	14.4%

[B-(1)] 聞くこと(英語)

1. (B1.2) 自然な速さの録音や放送(天気予報や空港のアナウンスなど)を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	4	2	11	1	82	41	81	41	39	24	16	15
共同獣医学部			1	1	11	13	7	13	7	4	3	2
教育学部	1	2	16	6	91	105	109	105	58	56	21	13
工学部	4	3	18	12	122	138	153	138	128	118	39	39
歯学部	1		7	1	14	9	16	9	5	4	3	
水産学部	1		9	5	49	46	40	46	35	31	10	7
農学部	1	1	7	9	56	63	63	63	59	54	25	19
法文学部	7		22	14	113	122	135	122	79	81	18	16
理学部		1	7	6	56	59	75	59	38	47	20	12
全学	19	9	98	55	594	596	679	596	448	419	155	123

1. (B1.2) 自然な速さの録音や放送(天気予報や空港のアナウンスなど)を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1.7%	1.6%	4.7%	0.8%	35.2%	33.3%	34.8%	33.3%	16.7%	19.5%	6.9%	12.2%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	3.3%	37.9%	43.3%	24.1%	43.3%	24.1%	13.3%	10.3%	6.7%
教育学部	0.3%	0.7%	5.4%	2.1%	30.7%	37.5%	36.8%	37.5%	19.6%	20.0%	7.1%	4.6%
工学部	0.9%	0.6%	3.9%	2.6%	26.3%	29.5%	33.0%	29.5%	27.6%	25.2%	8.4%	8.3%
歯学部	2.2%	0.0%	15.2%	4.3%	30.4%	39.1%	34.8%	39.1%	10.9%	17.4%	6.5%	0.0%
水産学部	0.7%	0.0%	6.3%	3.6%	34.0%	33.6%	27.8%	33.6%	24.3%	22.6%	6.9%	5.1%
農学部	0.5%	0.5%	3.3%	4.6%	26.5%	32.0%	29.9%	32.0%	28.0%	27.4%	11.8%	9.6%
法学部	1.9%	0.0%	5.9%	4.1%	30.2%	35.7%	36.1%	35.7%	21.1%	23.7%	4.8%	4.7%
理学部	0.0%	0.6%	3.6%	3.3%	28.6%	32.8%	38.3%	32.8%	19.4%	26.1%	10.2%	6.7%
全学	1.0%	0.5%	4.9%	3.1%	29.8%	33.5%	34.1%	33.5%	22.5%	23.5%	7.8%	6.9%

2. (B2.1) トピックが身近であれば、長い話や複雑な議論の流れを理解することができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	5	2	14	4	87	41	78	38	37	21	12	17
共同獣医学部	1		1		12	11	8	13	5	3	2	3
教育学部	2	2	15	11	96	101	111	96	54	50	18	20
工学部	6	5	29	9	135	142	144	153	111	125	39	34
歯学部	1		10	1	11	9	17	11	3	2	4	
水産学部	1		11	6	52	56	39	37	29	30	12	8
農学部	1	1	11	5	56	67	73	48	45	52	25	24
法学部	1		22	16	124	119	142	111	63	72	22	24
理学部			9	15	69	58	61	53	37	42	20	12
全学	18	10	122	67	642	604	673	560	384	397	154	142

2. (B2.1) トピックが身近であれば、長い話や複雑な議論の流れを理解することができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2.1%	1.6%	6.0%	3.3%	37.3%	33.3%	33.5%	30.9%	15.9%	17.1%	5.2%	13.8%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	41.4%	36.7%	27.6%	43.3%	17.2%	10.0%	6.9%	10.0%
教育学部	0.7%	0.7%	5.1%	3.9%	32.4%	36.1%	37.5%	34.3%	18.2%	17.9%	6.1%	7.1%
工学部	1.3%	1.1%	6.3%	1.9%	29.1%	30.3%	31.0%	32.7%	23.9%	26.7%	8.4%	7.3%
歯学部	2.2%	0.0%	21.7%	4.3%	23.9%	39.1%	37.0%	47.8%	6.5%	8.7%	8.7%	0.0%
水産学部	0.7%	0.0%	7.6%	4.4%	36.1%	40.9%	27.1%	27.0%	20.1%	21.9%	8.3%	5.8%
農学部	0.5%	0.5%	5.2%	2.5%	26.5%	34.0%	34.6%	24.4%	21.3%	26.4%	11.8%	12.2%
法学部	0.3%	0.0%	5.9%	4.7%	33.2%	34.8%	38.0%	32.5%	16.8%	21.1%	5.9%	7.0%
理学部	0.0%	0.0%	4.6%	8.3%	35.2%	32.2%	31.1%	29.4%	18.9%	23.3%	10.2%	6.7%
全学	0.9%	0.6%	6.1%	3.8%	32.2%	33.9%	33.8%	31.5%	19.3%	22.3%	7.7%	8.0%

[B-(2)] やりとり(英語)

1. (B1.1) 身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3	4	16	5	113	39	67	45	25	21	9	9
共同獣医学部	1		2	3	13	10	6	13	5	2	2	2
教育学部	4	1	20	19	126	138	95	79	42	36	9	7
工学部	5	4	22	19	165	177	159	158	85	86	28	24
歯学部	3		4	2	19	11	14	9	5	1	1	
水産学部	2	3	10	10	61	63	47	40	16	15	8	6
農学部	3	3	8	7	85	78	66	63	37	36	12	10
法学部	6	2	24	24	186	162	98	94	47	50	13	10
理学部	1		11	10	76	66	59	63	34	32	15	9
全学	28	17	117	99	844	744	611	564	296	279	97	77

1. (B1.1) 身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1.3%	3.3%	6.9%	4.1%	48.5%	31.7%	28.8%	36.6%	10.7%	17.1%	3.9%	7.3%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	6.9%	10.0%	44.8%	33.3%	20.7%	43.3%	17.2%	6.7%	6.9%	6.7%
教育学部	1.4%	0.4%	6.8%	6.8%	42.6%	49.3%	32.1%	28.2%	14.2%	12.9%	3.0%	2.5%
工学部	1.1%	0.9%	4.7%	4.1%	35.6%	37.8%	34.3%	33.8%	18.3%	18.4%	6.0%	5.1%
歯学部	6.5%	0.0%	8.7%	8.7%	41.3%	47.8%	30.4%	39.1%	10.9%	4.3%	2.2%	0.0%
水産学部	1.4%	2.2%	6.9%	7.3%	42.4%	46.0%	32.6%	29.2%	11.1%	10.9%	5.6%	4.4%
農学部	1.4%	1.5%	3.8%	3.6%	40.3%	39.6%	31.3%	32.0%	17.5%	18.3%	5.7%	5.1%
法文学部	1.6%	0.6%	6.4%	7.0%	49.7%	47.4%	26.2%	27.5%	12.6%	14.6%	3.5%	2.9%
理学部	0.5%	0.0%	5.6%	5.6%	38.8%	36.7%	30.1%	35.0%	17.3%	17.8%	7.7%	5.0%
全学	1.4%	1.0%	5.9%	5.6%	42.3%	41.8%	30.7%	31.7%	14.9%	15.7%	4.9%	4.3%

2. (B1.1) 個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を用いて、社交的な会話を続けることができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2	2	12	5	94	40	84	43	29	24	12	9
共同獣医学部	1			1	10	12	11	11	5	4	2	2
教育学部	2	2	11	15	109	104	105	104	58	44	11	11
工学部	5	2	21	15	129	130	168	173	102	114	39	34
歯学部	2		5	1	19	15	12	7	5		3	
水産学部		1	7	7	52	47	53	54	21	23	11	5
農学部	1	1	7	11	66	55	76	66	40	52	21	12
法文学部	1	1	21	19	144	126	130	117	59	66	19	13
理学部	1		8	9	60	60	71	62	37	32	19	17
全学	15	9	92	83	683	589	710	637	356	359	137	103

2. (B1.1) 個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を用いて、社交的な会話を続けることができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.9%	1.6%	5.2%	4.1%	40.3%	32.5%	36.1%	35.0%	12.4%	19.5%	5.2%	7.3%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	0.0%	3.3%	34.5%	40.0%	37.9%	36.7%	17.2%	13.3%	6.9%	6.7%
教育学部	0.7%	0.7%	3.7%	5.4%	36.8%	37.1%	35.5%	37.1%	19.6%	15.7%	3.7%	3.9%
工学部	1.1%	0.4%	4.5%	3.2%	27.8%	27.8%	36.2%	37.0%	22.0%	24.4%	8.4%	7.3%
歯学部	4.3%	0.0%	10.9%	4.3%	41.3%	65.2%	26.1%	30.4%	10.9%	0.0%	6.5%	0.0%
水産学部	0.0%	0.7%	4.9%	5.1%	36.1%	34.3%	36.8%	39.4%	14.6%	16.8%	7.6%	3.6%
農学部	0.5%	0.5%	3.3%	5.6%	31.3%	27.9%	36.0%	33.5%	19.0%	26.4%	10.0%	6.1%
法文学部	0.3%	0.3%	5.6%	5.6%	38.5%	36.8%	34.8%	34.2%	15.8%	19.3%	5.1%	3.8%
理学部	0.5%	0.0%	4.1%	5.0%	30.6%	33.3%	36.2%	34.4%	18.9%	17.8%	9.7%	9.4%
全学	0.8%	0.5%	4.6%	4.7%	34.3%	33.1%	35.6%	35.8%	17.9%	20.2%	6.9%	5.8%

3. (B2.1) ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	3	1	5	2	60	29	104	47	45	29	16	15
共同獣医学部	1			2	5	6	15	13	6	6	2	3
教育学部	1	2	6	11	52	54	130	124	80	72	27	17
工学部	3	1	13	14	91	95	177	173	126	128	54	57
歯学部	1		4	1	10	7	19	13	9	2	3	
水産学部	2	1	4	4	34	41	57	47	28	34	19	10
農学部		1	7	5	38	34	68	66	67	61	31	30
法文学部	2	1	11	10	68	79	166	132	99	91	28	29
理学部	1	1	7	3	38	37	81	77	42	42	27	20
全学	14	8	57	52	396	382	817	692	502	465	207	181

3. (B2.1) ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1.3%	0.8%	2.1%	1.6%	25.8%	23.6%	44.6%	38.2%	19.3%	23.6%	6.9%	12.2%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	0.0%	6.7%	17.2%	20.0%	51.7%	43.3%	20.7%	20.0%	6.9%	10.0%
教育学部	0.3%	0.7%	2.0%	3.9%	17.6%	19.3%	43.9%	44.3%	27.0%	25.7%	9.1%	6.1%
工学部	0.6%	0.2%	2.8%	3.0%	19.6%	20.3%	38.1%	37.0%	27.2%	27.4%	11.6%	12.2%
歯学部	2.2%	0.0%	8.7%	4.3%	21.7%	30.4%	41.3%	56.5%	19.6%	8.7%	6.5%	0.0%
水産学部	1.4%	0.7%	2.8%	2.9%	23.6%	29.9%	39.6%	34.3%	19.4%	24.8%	13.2%	7.3%
農学部	0.0%	0.5%	3.3%	2.5%	18.0%	17.3%	32.2%	33.5%	31.8%	31.0%	14.7%	15.2%
法文学部	0.5%	0.3%	2.9%	2.9%	18.2%	23.1%	44.4%	38.6%	26.5%	26.6%	7.5%	8.5%
理学部	0.5%	0.6%	3.6%	1.7%	19.4%	20.6%	41.3%	42.8%	21.4%	23.3%	13.8%	11.1%
全学	0.7%	0.4%	2.9%	2.9%	19.9%	21.5%	41.0%	38.9%	25.2%	26.1%	10.4%	10.2%

4. (B2.1) 自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックなら、抽象的なトピックであっても、議論できる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2	1	3	1	55	29	95	49	61	24	17	19
共同獣医学部	1			1	4	8	13	12	8	5	3	4
教育学部	1	1	3	8	60	64	117	117	80	64	35	26
工学部	4	1	14	8	76	85	177	167	139	140	54	67
歯学部	1		4	1	11	7	18	12	8	3	4	
水産学部	1		4	6	42	36	40	49	36	33	21	13
農学部	1	1	3	4	37	36	66	61	64	55	40	40
法文学部			11	11	71	81	153	119	99	86	40	45
理学部	1		5	5	40	42	82	62	43	45	25	26
全学	12	4	47	45	396	388	761	648	538	455	239	240

4. (B2.1) 自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックなら、抽象的なトピックであっても、議論できる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.9%	0.8%	1.3%	0.8%	23.6%	23.6%	40.8%	39.8%	26.2%	19.5%	7.3%	15.4%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	0.0%	3.3%	13.8%	26.7%	44.8%	40.0%	27.6%	16.7%	10.3%	13.3%
教育学部	0.3%	0.4%	1.0%	2.9%	20.3%	22.9%	39.5%	41.8%	27.0%	22.9%	11.8%	9.3%
工学部	0.9%	0.2%	3.0%	1.7%	16.4%	18.2%	38.1%	35.7%	30.0%	29.9%	11.6%	14.3%
歯学部	2.2%	0.0%	8.7%	4.3%	23.9%	30.4%	39.1%	52.2%	17.4%	13.0%	8.7%	0.0%
水産学部	0.7%	0.0%	2.8%	4.4%	29.2%	26.3%	27.8%	35.8%	25.0%	24.1%	14.6%	9.5%
農学部	0.5%	0.5%	1.4%	2.0%	17.5%	18.3%	31.3%	31.0%	30.3%	27.9%	19.0%	20.3%
法文学部	0.0%	0.0%	2.9%	3.2%	19.0%	23.7%	40.9%	34.8%	26.5%	25.1%	10.7%	13.2%
理学部	0.5%	0.0%	2.6%	2.8%	20.4%	23.3%	41.8%	34.4%	21.9%	25.0%	12.8%	14.4%
全学	0.6%	0.2%	2.4%	2.5%	19.9%	21.8%	38.2%	36.4%	27.0%	25.6%	12.0%	13.5%

[C] 読むこと(英語)

1. (B1.2) インターネットや参考図書などを調べて、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	6	5	24	6	116	39	52	47	31	19	4	7
共同獣医学部	1		4	5	12	14	5	4	5	4	2	3
教育学部	4	3	15	15	106	117	101	93	58	41	12	11
工学部	10	9	40	28	184	163	126	145	75	103	29	20
歯学部	4		3	1	22	9	13	10	3	3	1	
水産学部	6	3	19	17	54	60	36	31	15	22	14	4
農学部	8	1	22	21	83	80	53	48	35	37	10	10
法文学部	7	2	42	26	151	149	105	102	59	54	10	9
理学部	3	3	33	15	73	71	53	48	24	37	10	6
全学	49	26	202	134	801	702	544	528	305	320	92	70

1. (B1.2) インターネットや参考図書などを調べて、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2.6%	4.1%	10.3%	4.9%	49.8%	31.7%	22.3%	38.2%	13.3%	15.4%	1.7%	5.7%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	13.8%	16.7%	41.4%	46.7%	17.2%	13.3%	17.2%	13.3%	6.9%	10.0%
教育学部	1.4%	1.1%	5.1%	5.4%	35.8%	41.8%	34.1%	33.2%	19.6%	14.6%	4.1%	3.9%
工学部	2.2%	1.9%	8.6%	6.0%	39.7%	34.8%	27.2%	31.0%	16.2%	22.0%	6.3%	4.3%
歯学部	8.7%	0.0%	6.5%	4.3%	47.8%	39.1%	28.3%	43.5%	6.5%	13.0%	2.2%	0.0%
水産学部	4.2%	2.2%	13.2%	12.4%	37.5%	43.8%	25.0%	22.6%	10.4%	16.1%	9.7%	2.9%
農学部	3.8%	0.5%	10.4%	10.7%	39.3%	40.6%	25.1%	24.4%	16.6%	18.8%	4.7%	5.1%
法文学部	1.9%	0.6%	11.2%	7.6%	40.4%	43.6%	28.1%	29.8%	15.8%	15.8%	2.7%	2.6%
理学部	1.5%	1.7%	16.8%	8.3%	37.2%	39.4%	27.0%	26.7%	12.2%	20.6%	5.1%	3.3%
全学	2.5%	1.5%	10.1%	7.5%	40.2%	39.4%	27.3%	29.7%	15.3%	18.0%	4.6%	3.9%

1. (B1.2) インターネットや参考図書などを調べて、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	6	5	24	6	116	39	52	47	31	19	4	7
共同獣医学部	1		4	5	12	14	5	4	5	4	2	3
教育学部	4	3	15	15	106	117	101	93	58	41	12	11
工学部	10	9	40	28	184	163	126	145	75	103	29	20
歯学部	4		3	1	22	9	13	10	3	3	1	
水産学部	6	3	19	17	54	60	36	31	15	22	14	4
農学部	8	1	22	21	83	80	53	48	35	37	10	10
法文学部	7	2	42	26	151	149	105	102	59	54	10	9
理学部	3	3	33	15	73	71	53	48	24	37	10	6
全学	49	26	202	134	801	702	544	528	305	320	92	70

1. (B1.2) インターネットや参考図書などを調べて、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2.6%	4.1%	10.3%	4.9%	49.8%	31.7%	22.3%	38.2%	13.3%	15.4%	1.7%	5.7%
共同獣医学部	3.4%	0.0%	13.8%	16.7%	41.4%	46.7%	17.2%	13.3%	17.2%	13.3%	6.9%	10.0%
教育学部	1.4%	1.1%	5.1%	5.4%	35.8%	41.8%	34.1%	33.2%	19.6%	14.6%	4.1%	3.9%
工学部	2.2%	1.9%	8.6%	6.0%	39.7%	34.8%	27.2%	31.0%	16.2%	22.0%	6.3%	4.3%
歯学部	8.7%	0.0%	6.5%	4.3%	47.8%	39.1%	28.3%	43.5%	6.5%	13.0%	2.2%	0.0%
水産学部	4.2%	2.2%	13.2%	12.4%	37.5%	43.8%	25.0%	22.6%	10.4%	16.1%	9.7%	2.9%
農学部	3.8%	0.5%	10.4%	10.7%	39.3%	40.6%	25.1%	24.4%	16.6%	18.8%	4.7%	5.1%
法文学部	1.9%	0.6%	11.2%	7.6%	40.4%	43.6%	28.1%	29.8%	15.8%	15.8%	2.7%	2.6%
理学部	1.5%	1.7%	16.8%	8.3%	37.2%	39.4%	27.0%	26.7%	12.2%	20.6%	5.1%	3.3%
全学	2.5%	1.5%	10.1%	7.5%	40.2%	39.4%	27.3%	29.7%	15.3%	18.0%	4.6%	3.9%

2. (B2.2) 自分の専門分野の論文や資料から、辞書を使わずに、必要な情報や論点を読み取ることができる

学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2		7	3	42	18	74	44	74	35	34	23
共同獣医学部				2	6	6	8	10	11	7	4	5
教育学部	1	1	5	6	26	45	107	111	109	80	48	37
工学部	3	2	8	10	60	71	154	165	139	151	100	69
歯学部	2		1	1	13	5	19	9	7	6	4	2
水産学部			3	4	23	24	44	50	38	35	36	24
農学部			4	3	17	19	55	50	78	71	57	54
法文学部	1	1	6	4	39	54	137	118	127	106	64	59
理学部			5	6	23	25	72	66	59	48	37	35
全学	9	4	39	39	249	267	670	623	642	539	384	308

2. (B2.2) 自分の専門分野の論文や資料から、辞書を使わずに、必要な情報や論点を読み取ることができる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.9%	0.0%	3.0%	2.4%	18.0%	14.6%	31.8%	35.8%	31.8%	28.5%	14.6%	18.7%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	20.7%	20.0%	27.6%	33.3%	37.9%	23.3%	13.8%	16.7%
教育学部	0.3%	0.4%	1.7%	2.1%	8.8%	16.1%	36.1%	39.6%	36.8%	28.6%	16.2%	13.2%
工学部	0.6%	0.4%	1.7%	2.1%	12.9%	15.2%	33.2%	35.3%	30.0%	32.3%	21.6%	14.7%
歯学部	4.3%	0.0%	2.2%	4.3%	28.3%	21.7%	41.3%	39.1%	15.2%	26.1%	8.7%	8.7%
水産学部	0.0%	0.0%	2.1%	2.9%	16.0%	17.5%	30.6%	36.5%	26.4%	25.5%	25.0%	17.5%
農学部	0.0%	0.0%	1.9%	1.5%	8.1%	9.6%	26.1%	25.4%	37.0%	36.0%	27.0%	27.4%
法文学部	0.3%	0.3%	1.6%	1.2%	10.4%	15.8%	36.6%	34.5%	34.0%	31.0%	17.1%	17.3%
理学部	0.0%	0.0%	2.6%	3.3%	11.7%	13.9%	36.7%	36.7%	30.1%	26.7%	18.9%	19.4%
全学	0.5%	0.2%	2.0%	2.2%	12.5%	15.0%	33.6%	35.0%	32.2%	30.3%	19.3%	17.3%

[D] 発表(英語)

1. (B1.1) 使える語句や表現をつないで、自分の経験や夢、希望を順序立て、話を広げながら、ある程度詳しく語ることができる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	1		19	6	113	34	64	52	28	22	8	9
共同獣医学部			1	4	11	12	9	7	6	5	2	2
教育学部	3	7	18	14	123	116	93	94	46	36	13	13
工学部	4	3	27	18	119	141	168	171	110	106	36	29
歯学部	3		2	1	18	11	14	9	8	2	1	
水産学部	1	1	9	11	50	55	45	38	29	26	10	6
農学部	3		6	11	58	43	87	75	41	49	16	19
法文学部	4	1	16	21	148	124	129	120	64	65	13	11
理学部	3		8	5	60	59	76	70	34	34	15	12
全学	22	12	106	91	700	595	685	636	366	345	114	101

1. (B1.1) 使える語句や表現をつないで、自分の経験や夢、希望を順序立て、話を広げながら、ある程度詳しく語ることができる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.4%	0.0%	8.2%	4.9%	48.5%	27.6%	27.5%	42.3%	12.0%	17.9%	3.4%	7.3%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	3.4%	13.3%	37.9%	40.0%	31.0%	23.3%	20.7%	16.7%	6.9%	6.7%
教育学部	1.0%	2.5%	6.1%	5.0%	41.6%	41.4%	31.4%	33.6%	15.5%	12.9%	4.4%	4.6%
工学部	0.9%	0.6%	5.8%	3.8%	25.6%	30.1%	36.2%	36.5%	23.7%	22.6%	7.8%	6.2%
歯学部	6.5%	0.0%	4.3%	4.3%	39.1%	47.8%	30.4%	39.1%	17.4%	8.7%	2.2%	0.0%
水産学部	0.7%	0.7%	6.3%	8.0%	34.7%	40.1%	31.3%	27.7%	20.1%	19.0%	6.9%	4.4%
農学部	1.4%	0.0%	2.8%	5.6%	27.5%	21.8%	41.2%	38.1%	19.4%	24.9%	7.6%	9.6%
法文学部	1.1%	0.3%	4.3%	6.1%	39.6%	36.3%	34.5%	35.1%	17.1%	19.0%	3.5%	3.2%
理学部	1.5%	0.0%	4.1%	2.8%	30.6%	32.8%	38.8%	38.9%	17.3%	18.9%	7.7%	6.7%
全学	1.1%	0.7%	5.3%	5.1%	35.1%	33.4%	34.4%	35.7%	18.4%	19.4%	5.7%	5.7%

2. (B1.1) 自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語ることができる												
学部	じゅうぶんできる		ほとんどできる		どちらかといえばできる		どちらかといえばできない		ほとんどできない		まったくできない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	2	1	28	8	129	45	47	45	21	18	6	6
共同獣医学部			3	5	14	13	7	6	3	4	2	2
教育学部	11	5	33	30	136	116	62	83	40	35	14	11
工学部	12	8	42	30	163	167	122	137	97	95	28	31
歯学部	5		5	2	17	9	14	10	4	2	1	
水産学部	6	4	22	18	56	56	28	31	20	22	12	6
農学部	5	4	20	21	88	74	49	45	34	37	15	16
法文学部	14	9	35	33	177	152	85	86	52	53	11	9
理学部	11	3	23	23	63	63	66	52	23	28	10	11
全学	66	34	211	170	843	695	480	495	294	294	99	92

2. (B1.1) 自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語るこ る												
学部	じゅうぶん できる		ほとんど できる		どちらかといえば できる		どちらかといえば できない		ほとんど できない		まったく できない	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医学部	0.9%	0.8%	12.0%	6.5%	55.4%	36.6%	20.2%	36.6%	9.0%	14.6%	2.6%	4.9%
共同獣医学部	0.0%	0.0%	10.3%	16.7%	48.3%	43.3%	24.1%	20.0%	10.3%	13.3%	6.9%	6.7%
教育学部	3.7%	1.8%	11.1%	10.7%	45.9%	41.4%	20.9%	29.6%	13.5%	12.5%	4.7%	3.9%
工学部	2.6%	1.7%	9.1%	6.4%	35.1%	35.7%	26.3%	29.3%	20.9%	20.3%	6.0%	6.6%
歯学部	10.9%	0.0%	10.9%	8.7%	37.0%	39.1%	30.4%	43.5%	8.7%	8.7%	2.2%	0.0%
水産学部	4.2%	2.9%	15.3%	13.1%	38.9%	40.9%	19.4%	22.6%	13.9%	16.1%	8.3%	4.4%
農学部	2.4%	2.0%	9.5%	10.7%	41.7%	37.6%	23.2%	22.8%	16.1%	18.8%	7.1%	8.1%
法文学部	3.7%	2.6%	9.4%	9.6%	47.3%	44.4%	22.7%	25.1%	13.9%	15.5%	2.9%	2.6%
理学部	5.6%	1.7%	11.7%	12.8%	32.1%	35.0%	33.7%	28.9%	11.7%	15.6%	5.1%	6.1%
全学	3.3%	1.9%	10.6%	9.6%	42.3%	39.0%	24.1%	27.8%	14.8%	16.5%	5.0%	5.2%

C-3 学生によるアンケート結果に係る今後の課題

以上のデータから明らかにされた点、つまり今後の教授・学習上の課題について整理しておきたい。セクションごとに要点化していく。

<Part I>

(英語運用能力に関する技能別観点)(28問)

[A] 英語によるライティングに関して

マイクロレベル(文法、綴り、句読点等)に対して、マクロレベル(内容・論理構成)の運用能力に対して自己評価が低くなっている。これは高校では習得すべきライティング知識・課題として英語授業で扱われていない部分である。大学授業(前期・後期の1年間)を通して継続・系統的な指導が求められる。

[B] 英語のリスニングに関して

一方向的な流れに止まっている。聴き取りはできたとしても、その内容をもとにした切り返し(やりとり)能力、すなわち確認、質問、意見、助言行為となると、自己評価が低い。大学受験(センター試験、リスニング)対策の学習レベルで留まっていることが背景にある。リスニングとは聴き取りではなく、やりとりを前提としている。このような新たな捉え方(認識)を大学授業・学習の場で継続強化し、能力強化に努める必要がある。

[C] 英語の音読に関して ※黙読は除外

単語単位(発音記号、アクセント)の発話能力に対して、文単位以上(パラグラフを含む)の音読で求められるチャンキング(区切り方)、連結発音や脱落(リエゾン)、適度な音読速度(wpm)のレベルに対する自己評価が低い。これも受験対策型英語学習から派生した負の結果(学習効果)といえる。高校の英語授業でそのルールを含め、正しい知識習得が行われていないことが原因と考えられる。しかしこれらの音読スキルは発話行為(プレゼンテーションを含む)で重要な役割をもつ。「やりとり」としてのリスニング活動と合わせて、ここで触れた評価の低い音読スキルも継続指導していく必要がある。

[D] 英語による発話や表現に関して

受験に課されない領域は、上記の音読試験に加えて、発話（プレゼンテーション）試験である。Show and Tell Practice で示される、個人個人が前に立ってスピーチをするという学習経験が高校英語授業で担保されていなかった可能性がじゅうぶんある。その結果、データが示す通り、kinesics（身体動作学—アイコンタクト、身振り手振り、体の動き）や paralinguistic（パラ言語—声調変化による意志・感情表現作法）に対する自己評価が低い。上記の音読スキルと併用した学習体験の積み重ねが必要となる。

その一方で気になるのが、自己説明力である。過去（出身高校）や基本的な情報（出身地、年齢など）は英語で言えても、現在—未来（大学入学と専攻領域の選択説明や理由、将来の人生計画など）に対する説明能力は評価が低い。このコンテキストに沿った英語発話・説明能力を育てていく必要がある。

<Part II>

(外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠日本人学習者用:CEFR-J)(14問)

[A] 書くこと(英語)

自分の身の回りで起きたことなどの説明（トピック）に対して、必要とされるライティング力、とくにエッセイ作成能力に対する自己評価が低い。エッセイ能力はCEFR-J Bレベル（自立した英語学習者）を証明する重要な指標となっている。パラグラフ・ライティングからエッセイ・ライティングへの連動した教授支援体制の確立が不可欠となる。

[B-(1)] 聞くこと(英語)

メディアや空港アナウンスなど、ネイティブスピーカーが自然な速度で話す英語の理解に対して自己評価が低くなっている。授業で指導すべきは、聴き取りの徹底と合わせて（それ以上に）、内容のメモ取りとそれによる聞き返し（やりとり）というタスクの導入である。それにより、新たなリスニング活動の重要性を理解してもらう必要がある。

[B-(2)] やりとり(英語)

テーマに関わらず（自身について、最近のニュースについて、その他）、議論というモードに対する自己評価が低い。ディベート授業がその対策として考えられる一方、上で述べたように、メモ取りを加え、内容の集約（要点・要約）作業を授業で取り入れる必要がある。

[C] 読むこと(英語)

インターネットや専門書など、辞書以外の情報媒体へのアクセス力の弱さを示唆している。「テーマを決め、調べて、考えて、論を立てていく」という、大学で求められる一般的なアカデミックスキルを英語を媒体として獲得していく授業づくりが必要である。

【D】発表(英語)

すでにふれた点であるが、入学段階で止まっている状態が見られる。卒業後、あるいは3年次の専門課程を今から想像し、具体的な人生スキームを構築していく必要がある。それを具体的に、理由や根拠を交えながら英語で説明できる力が求められる。

II. 平成 28 (2016) 年度ワークショップについて

平成 28 (2016) 年度から共通教育英語新カリキュラムを導入するに伴い、外国語教育推進部として、初めて年 2 回の教員ワークショップを実施した。

A. 平成 28 (2016) 年度第 1 回 英語 IA・英語 IB ワークショップ

1 回目は、平成 28 (2016) 年 8 月 8 日 (月) 13:00~15:00 に、郡元キャンパス共通教育棟 1 号館 4 階 Common Room 2 にて開催した。参加対象者は、外国語教育に関わっている全教員 (専任教員、非常勤講師) とした。「新カリキュラム (英語 IA・IIA、英語 IB・IIB) の教授法向上と教材の有効活用に向けて」と題し、ワークショップを開催した。その趣旨は、平成 28 年度より共通教育英語は新カリキュラムを導入し、これまで事前に説明会を設けたり、個別に対応したりすることで準備を進め、4 月からの実施を迎えた。現状としては各先生が試行錯誤を繰り返し、授業を行っていたが、先生方からは「どのように授業をしたらいいのかわからない」、「メインテキストとサブテキストをどのように活用したらいいかわからない」という意見が届いていた。そこで第 1 回目のワークショップでは、教授法向上と教材の有効活用について考えるものであった。目標として、ワークショップ参加者が新カリキュラムに対応する教授法と教材の有効活用の仕方を理解し、後期からの授業改善に役立てることを目指した。そのために英語教員に事前アンケートを実施し、その集計結果をもとに当日の内容に反映させた。英語 IA と英語 IB ごとにアンケート結果のフィードバックを提示し、アンケート結果に対応した事例紹介 (Q&A を含む) を行い、ディスカッションをする形式で行った。

アンケートのフィードバックとして、「テキストの内容をこなすのが精一杯であり、シラバスの目標とテキストによる指導を一致させることができない。シラバスの内容を変えてほしい。シラバスの内容が細かすぎるので、教員に自由裁量の部分がほしい」、「教科書は全部終わらせることが目標なのではなく、どう使うかが問題である。前期後期で教科書を引き継ぐにあたり、前期後期の教員同士がコミュニケーションを取ることは良いことだと思う」などの意見が挙げられた。それに対し、センターの意見としては「去年は教科書の選択肢の幅が広すぎたため、今年は教科書数を少なくしたが、来年はもう少し指定の教科書を増やすことで対処したい。それぞれ推薦書があれば提案してほしい」、「low-achiever の学生、また学部からは、読解力と文法力と語彙力をつけてほしいという要望があったので、英語 IA や IB では文法力や語彙力をつけるための指導も行わなければならない。一人の教員が一つの教科書で一学期だけ教えるとしても、ライティングをしっかりとできるようになるような教科書を導入したい。トピックに関しては (学部に関連することという) 制限を外していきたい。余裕がある教員はプレゼンを教えてもいい」、「教科書については、色々な先生方に意見を聞いて推奨教科書を増やしていく予定である。カリキュラムについては、まずは前期でライティングの指導を行いたい。h3 など到達度の低いクラスでは文法も指導をしていく必要があるが、必要に応じてライティングとスピーキングを一緒に指導していく」などの方向性が意見として述べられた。

成果として、参加者は後期の授業に役に立つヒントを得ることができ、後期授業の改善に

役立てた。また、教育センター英語教員が、学部および非常勤の先生方と意見交換を行い、そこでの意見は、平成 29（2017）年度のカリキュラムの内容や推奨テキストリストなどに反映した。

なお、当日の配布資料を教育センターのホームページに掲載し、当日参加できなかった教員や参加した教員が情報を得られるように配慮した。

参考までに、平成 28（2016）年度第 1 回ワークショップ開催時に行った、教員対象の事前アンケートのうち、英語 I A、英語 I B に関して寄せられた、授業担当者からの声をそれぞれ、巻末データ[1]（資料 9）、巻末データ[2]（資料 10）として挙げた。

B. 平成 28（2016）年度第 2 回 教員ワークショップ

2 回目は、平成 29（2017）年 2 月 14 日（火）13:00～15:00 に、郡元キャンパス共通教育棟 1 号館 4 階 Common Room 2 にて開催した。参加対象者は、共通教育英語（英語 IIA・英語 IIB）専任教員と非常勤講師（希望者のみ）、その他、本ワークショップに関心のある方とした。「英語のクラスにおける授業改善と教授法向上に向けて」と題し、ワークショップを開催した。1 回目のワークショップのアンケートの結果、授業ですぐに使える教授法への要望や、教員同士でディスカッションをしたいという意見が多く集まった。その意見を反映し、2 回目はディスカッションを中心としたワークショップを開催した。本ワークショップでは、各技能別に授業で実践できる指導法の紹介や、参加者同士の意見交換をとおして、次年度の授業改善に活かしていただくことを目的とした。具体的な目標として、参加者は英語の授業で使える教授法を学び、次年度の授業改善に役立てることを目指した。また参加者同士で意見交換を行い、疑問や悩みを解決するためのヒントを得る機会を設けた。具体的には、四技能のトピックとして①Reading、②Writing、③Speaking、④Listening、⑤Presentation、その他のトピックとして⑥Active Learning、⑦Motivation、⑧Equality, Diversity, and Inclusion（修学支援や学習支援が必要な学生への対応など）を設定した。

成果として、参加者は希望する 4 つのトピックに関して、教育センター英語教員の取り組みと他の教員のさまざまな取り組みを知れ、意見交換ができ、平成 29（2017）年度からの授業へのヒントを得た。また、英語で実施されたため、ネイティブ・スピーカーとも深い話し合いが促された。さらに⑧に関しては全教員に知っていただきたい内容だったため、障害学生支援センターより教員を招き、直接、お話をしていただいた。

ワークショップ終了後のアンケートでは、「このワークショップに参加して、何が得られましたか」の問いに対し、「見たことがないテキストを紹介してもらったので、助かりました。同じような教え方をしている先生も多くて、自分の教え方もこれで大丈夫かもしれないと感じた」、「他の先生のクラスでの工夫やヒントが聞け、春学期からの授業で参考にしたいと思います」などの意見があった、また、「本日の企画に対するご意見や、今後、取り上げてほしいテーマ等がありましたら、自由にお書き下さい」の問いに対し、「各セクションの時間短いの、最低 30 分～40 分は欲しい」との意見も挙げられ、今後のワークショップの参考にしていきたい。

なお、2 回のワークショップでの配布資料やアンケートをまとめたものを教育センターホームページに掲載し、参加できなかった教員や参加した教員がさらに情報を得られるよう

に配慮した。

参考までに、平成 28 (2016) 年度第 2 回ワークショップ開催時の事後アンケートに寄せられた授業担当者からの声を巻末データ[3] (資料 11) として挙げた。

C. ワークショップに係る今後の課題

平成 28 (2016) 年度の 2 回のワークショップはおける意見は、平成 29 (2017) 年度のカリキュラムの内容に反映させたり、推奨テキストリストの見直しに反映させたりした。また、2 回目の各教員のテキストの使用や教授方法に関する意見交換は好評であったため、今後も行っていければとの意見が挙げられた。また、外部から講師を招き、鹿児島大学の英語教育に新たな風を入れたい旨の意見も挙げられ、さまざまな内容を検討しながら、教員の授業に参考になるワークショップを検討していきたい。

Ⅲ. 結語

本報告書は、いわゆる PDCA サイクルでいえば、Plan の一部を実行し (Do)、それに対する検証を行い (check)、そこから改善に取り掛かっていく段階である。実行後の振り返りを定期的に行い、組織的な確認と点検を積み重ねていくことは、教育を受ける学生のみならず、実施母体である共通教育センター外国語教育部門の組織的成長にとっても必要である。

本稿で示された平成 28 年度の新規英語外部試験 GTEC CTE (リスニングとリーディング) をみると、新入生のスキル面の成績は CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) の基準から見て、A2 レベルであった。個人差はあるものの、おのおのが英語学習の目的、方法、内容について再点検し、新たな努力目標を構築する必要がある。

この GTEC CTE の成績結果に基づき、1 年次末に全学で 30 名ほどの学生を表彰した。受賞した学生たちの英語学習上のコツや心がけを学内で分かち合い、自学自修の機運を一層高めていければと思う。

GTEC CTE 受検直後に行う英語学習アンケート結果から学習の実態がある程度つかめた。この結果を授業改善と学習指導に有効活用していける準備を整えていく必要がある。

平成 28 (2016) 年度よりスタートした新カリキュラムの運用に向けて、改革初年度に 2 回の FD (ワークショップ) を開催できた。専任、非常勤の教員と職員が一丸となって研修に励めることは幸いなことである。諸課題を認識しながら個々の現場でさらなる工夫を凝らしていきたい。

今回触れた項目を中心に継続的に検証しながら、さらなる前進につなげていければと考えている。

謝辞

本報告書で触れた教育活動には多くの方々が関わっている。本学の清原貞夫 教育担当理事、飯干 明 共通教育センター長、内山 修一 学生部長、安田 和義 共通教育センター室長、ならびに事務系職員、とりわけ平成 28 (2017) 年度外国語教育推進係、共通教育係、ならびに共通教育課総務係職員諸氏からは、多くの支援と協力を受けた。GTEC CTE の具体的運用や成績結果のとりまとめに関しては、ベネッセ i-キャリアのスタッフ、とりわけ五十嵐俊也氏 (平成 28 年度 9 月まで)、佐藤昭夫氏、賀門俊裕氏より、多くの協力を得た。心より御礼申し上げたい。また、この新しい英語外部試験の成績結果データに係る業者とのやりとりや解析等にあたり、本学総合教育機構の山田隆行先生 (初年次教育・教養教育部門; 統計学) より有益な助言を受けている。記して感謝を表したい。

本稿執筆時、早くも平成 29 (2017) 年度の歩みが展開されている。学生たちのよりよい学びとその全人的成長に向けて、今後も支援を乞う次第である。

平成 28 年度 前期授業 Spring Semester : 【 O 】 英語 IA (ELAI)	■ 対応 Countermeasures/Solutions	■ 備考 Notes
<p>■ 悩んでいる点 Problematic Points</p> <p>1 [発話・音読指導]</p> <p>1A. chunking, liaison, pronunciation etc.. properly, is possible but difficult... and other tasks required throughout the semester, seemed overwhelming at times. チャンキングは理解しているよ うだが、発音・アクセント等の徹底をどうおこなえばよいか (辞書活用の指導を行うべきか)</p> <p>1B. 副教材の Listening Trainer for English Communication は、宅習としてのみ使用したため、発 音指導などは、徹底できなかった。音声の副教材をどう利用させるかがむずかしい。“Listening Trainer” could be a bit tedious. It is very time-consuming to use in the classroom.</p>	<p>■ 対応 Countermeasures/Solutions</p> <p>・スピーク・アウトに焦点をあてる。</p>	
<p>2 [テキスト使用]</p> <p>2A. 2 冊のテキストの分量が多く毎回時間ぎりぎりでの授業運営になる。</p> <p>2B. 教科書自体はいいものだと思うが、レベルや目的に合っているのか疑問に感じる。スクリプトが ないと、学生は手も足も出ない。</p> <p>2C. 同じテキストを後期に使うということで、指定された範囲を完了しないといけないというプレッ シャーを感じた。後期担当の先生との引き継ぎが、上手く行くかどうか...今学期は事前に時間がな かったなので、テキストは使用せず、様々なプリント教材を使用させていただきました。大変申し訳ご ざいませぬ。</p> <p>2D. クラス (とくに習熟度が低い場合) によっては、読み方の技法以外に英文の内容や文法の解説を ある程度はしないと理解不足の可能性がある (学生からのそのような希望がある) が、1 回の授業で 1 ユニット程度を進むためには時間が十分でない。基礎クラスは英語力不足と一般的な知識不足でテ キストの内容理解が難しい (見直しが必要)</p> <p>2E. ノートテイキングの利用法 (テキスト教材でそれに活用できる部分が少ないと感じた)。ノートテ イクの方法の解説はリスニング学習というより、授業のノートを取るためのものが多く、そのまま授 業では利用しにくい。リスニングの習熟度に合わせた適当なノートテイクの教材を見つけるのがむず かしい</p> <p>2F. 教科書がリーディング中心になっているため、R の授業と大差ない指導になりがちだった。</p>	<p>・テキストに関して IA は昨年までのコア R とコ ア U が中心である。プラス Read-aloud を促し ていく。出版社にもこれを満たすテキストはな い。</p> <p>・プラス self-development が重要である。</p> <p>・1 人の先生が 1 年通して教えるのがベスト。</p> <p>・シラバスの見直し。細かくしないで、CEFR-J をもとに簡素化する。</p> <p>・後期はテキストの引き継ぎをずるが、うまくい かない場合、昨年同様に 1 学期に教員 1 人で 1 冊 のテキストに戻す。</p> <p>・ただし、学生が多くのテキストを買わなくては ならない問題がまた生じてくる。</p> <p>・前期と後期の教員で話し合ってテキストを決</p>	

<p>2G. 海外版は 1unit にあれこれ盛り込みすぎで使いにくい</p>	<p>める。→一部の教員はすでにやっている。</p>	
<p>■ 悩んでいる点 Problematic Points</p> <p>2H. 教科書がよくない。個人アドレスを登録してログインしないと、練習問題などができないようになっている。強制的に登録させて、個人情報を出社が入りしよとうとしている印象を受ける。しかも、最初登録がうまくいかず、画面が消える、次の画面に進まないなどのトラブルが生じた学生が続出した。出版社に問い合わせても回答までにはしばらく時間がかかり、結局、授業の最初の何時間分かはアクセスできないまま（すなわち予習復習ができないまま）の学生がいた。</p> <p>2I. 1年を通して、別の教員で同じテキストを使うことはなかなか困難もあると考えられます。</p> <p>2J. I would like more advice on how to help students with Formation of Self-Identity (p.17 of the Handbook).</p> <p><当日の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で self-development をしなくてもいいのではないか。これは初年次セミナーでやることで、英語では、Teenager problems や Social issues を扱えばいいのではないか。 ・大学生に必要な能力は reading aloud よりも、読んだことについて英語で深い意見を言えるようになるのが大事ではないか。 ・前期と後期担当者が違う場合、学期ごとに教員がテキストを選ぶようにした方がいいのではないか。 ・1学期でテキストを全部終える必要はないのではないか。 ・年に1冊のテキストを使うことで、教員同士の連携、コミュニケーションが図れてよいと思う。 ・テキストの選択を担当者が選ぶのはどうか。特にHレベルのものを増やして欲しい。 ・推奨テキストリストでは、選択肢の幅がないので自分で持ってきてもいいのか。4つの選択肢があったが、日本語があるものは使いたくなく、英語のみのは難しすぎた。 ・現在の推奨テキストは呉巢のレベルと一致していない。 ・推奨テキスト制度自体の見直しの可能性はあるのか。 	<p>■ 対応 Countermeasures/Solutions</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書は全部終わらせることが目標ではなく、どう使うかが問題である。 ・教科書選択に関しては、次のセメスターの様子を見てから決める。 ・去年は教科書の選択肢の幅が広すぎたため、今年は教科書数を少なくした。来年はもう少し増やすことで対処したい。 ・先生方からも使用したいテキストをうかがい、推奨テキストに反映していく。 ・前期と後期の担当教員でメール交換するだけではなく、実際に会って話すことで、不満も減らせるのではないか。 	<p>■ 備考 Notes</p>
<p>3 [授業活動・指導]</p> <p>3A. 英語だけでグループディスカッションなどさせるのが難しい。一部の学生からの積極的な発言は可能だが、他の学生からの発言を促すことが難しい。ペアワークの苦手なあるいは消極的な学生への対応が難しい。アクティブラーニングをどう増やすか、という点（増やしたいから）。毎時間、全員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・センター教員の授業などをオプザーブしていく提案をしていく。 	

<p>に発話を促している、なかなか教科書の先に進めない。 3B. 英語で行う分、時間がかかってしまうこと。</p>	
<p>4 [シラバス] 4A. シラバス通り、進めることができなかったクラスもある。 4B. ひとつの科目で2つの技能を等しく指導することは困難。 技能統合の流れでリーディングとリスニングをひとつにした、というところと聞こえはよいが、結局は技能別の変種でしかない。 4C. There were so many new elements introduced in the Handbook that it was difficult to determine exactly how much should be or could be included. I found it somewhat overwhelming trying to incorporate as much as possible into the 16 weeks. 4D. 正直、毎回の教材研究や授業構成に追われ、違いを見極めるところまでいっていない。 ＜当日の意見＞ ・副教材に関して、テキストの内容をこなすのが精一杯で、シラバス目標とテキストによる指導を一致させることができない。そのため、教員にもう少し自由に授業をさせて欲しい。 ・シラバスの内容の詳細をこなすのに十分な授業時間がない。 ・リスニングに特化した授業ではなく、統合型で実施したらいいのではないか。</p>	<p>・細かい項目わけはやめ、シラバスを見直したい。 ・CEFR-Jの最低限の目標を提示し、各教員で柔軟に対応していただきたい。</p>
<p>5. [授業担当] 前期と後期を通して、一人の担当の方がいいのではないか。テキストの使い方、クラスの特徴、学生の顔と名前が分かるようになった時点で、引き継ぐことになると、もったいない。</p>	<p>・時間割の関係上、1人の教員が1つのクラスを担当することは難しい。 ・特にセンター教員の場合、どうしても前期にコマ数が偏るが、後期は専門科目が増える関係で仕方のないことである。 ・前期、後期同じ教員が教える場合の結果を今後考察し、来年に反映する。</p>
<p>6. [それ以外] (この項目に関しては、事前アンケート及び当日に意見は挙げられなかった)</p>	

平成 28 年度 前期授業 Spring Semester : [O] 英語 IB (EGAPI)	■ 対応 Countermeasures/Solutions	■ 備考 Notes
<p>■ 悩んでいる点 Problematic Points</p> <p>1 [ライティング指導]</p> <p>1A. brainstorming の説明を初回時したが、presentation script 作成の中でも指導するのか？</p> <p>1B. writing 力向上のためにどの程度、教員が添削をしたらいいのか。自ら考えて、英作文ができるようにするにはどうしたらいいのか。</p> <p>1C. 文法力、語彙力の面で、思った以上に学力差があった。</p> <p><当日の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライティングにつなげるために、読解力と文法力と語彙を教えないといけない。 ・H3 は文法など基礎力を付ける必要がある。 ・アカデミック・ライティングとプレゼンテーションのスク립トを書くことは全く異なる技能であるため、それぞれ異なる授業で取り扱うべきである。 ・アカデミック・ライティングは前期だけでは足りないもので、できれば 1 年に渡って指導したい。 		
<p>2 [プレゼンテーション指導]</p> <p>2A. プレゼンを行う際に毎回教員側の負担がかなりある。教員の専門以外の内容を教えないといけないため、かなり準備に時間を要する。</p> <p>2B. プレゼンをさせるには、34 名のクラスは多すぎると感じた。少人数のクラスなら、原稿の読み方などもっとときめ細やかな指導ができたのではないかと感じた。特に、英語に苦手意識を持つ学生のクラスでは、人数を少なくしてほしい。</p> <p>2C. パソコンに慣れている学生とそうでない学生を一緒に指導する点が難しかった。</p> <p>2D. プレゼンテーションだけの授業になった点 (プレゼンテーション以外のスキルを教えていない)。</p> <p>2E. 受講生が 35 名程度でプレゼンテーションを最後の授業 1 回で終わらせることは無理だと思うので最後の授業と期末試験の 2 回に分けて行うことにした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生によってプレゼンテーション自体を変えていくのはいくつか。例えば高いレベルの学生はプレゼンテーション、低いレベルの学生は show and tell するなど。 ・初年次セミナーで self-expression、情報基礎でパワーポイントをするので、それ以外の部分で、指導をしたい。 	

<p><当日の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・IBのテキストを行い、それに基づくプレゼンをさせた。 ・プレゼンテーションのトピックは1学期に1つか2つに絞った方がいいかもしれない。学生によっては大きな負担になる。 ・学生はプレゼンテーションのために、原稿を単に日本語から英語に訳しているだけである。リサーチを取り入れることをしていない。 ・学生の所属する学部に関係のあることについて英語でプレゼンテーションをしなければいけない理由は何なのか。教員にとっても難しいうえ、学生はまだ専門について学んでいない。 ・教科書を進めるのがとても難しいが、後期への引継ぎを考えて、選んだ教科書の半分は進めなければならぬ。 ・学部に関係する内容という指定はなくしてプレゼンテーションの技術の習得に絞るべきではないか。 ・教科書については、自由裁量でいいのではないか。教科書がサイエンスにかかわるものであれば、自分もつまらないしやりたくない。 		
<p>3 [テキスト使用]</p> <p>3A. 2冊のテキストの使用比率。</p> <p>3B. 授業の基本的な方針はこれでもいいように思いますが、扱うテキストには大学生の知的好奇心をそめるような内容、評論や文学作品等をもって入れてもいいのではないかと思います。そのために、テキスト選択の自由度をもっと担当者に与えてもいいのではないかと考えます。</p> <p>3C. ライティングとスピーキングの統合は正統的である一方、どちらからいえばライティング指導ができない状況にある（例、テキストの問題、授業時間数の問題）。ライティング用テキストを全学部対象に設ける。前期より後期にプレゼンを重視する方が現実的。</p> <p>3D. もっと多くのテキストから選べるようにしてほしいです。</p> <p>3E. Presentations to Go の導入。文章構成の仕方や初年次教育的内容を日本語で説明する時間が増えた。Presentation の指導では4技能以外のこと（発話パフォーマンス、power point の作り方）にも時間と労力を使う。Presentations to Go は授業では全然使っていない。「情報活用」「初年次セミナー」の授業と重なる部分が多く、それを英語に特化しただけの内容という印象を受ける。英語IBでは Presentations to Go の半分しか使っていない。他の教科書はまったく使っていないので、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、教科書を学部に即したものにして、学生に興味を持ってもらいたいとすすめたが、実際は専門用語が難しすぎたり、そもそも機械工学の学生でも全員が機械工学をしいと思っ入学しているわけではなかったりした(選定した教科書を使用して授業をするのが難しいことがわかった)。もっと学生たちがやりたいテーマを自分で選べることが大切である。 ・low-achiever の学生、また学部からは、読解力と文法力と語彙力をつけてほしいという要望があった。 ・なので、英語 IA や IB では文法力や語彙力を 	

<p>Presentations to Go 以外の教科書は要らない。特に、リーディングの教科書は Presentations to Go との相性があまり良くないと思う。</p> <p>They were supposed to learn how to write a speech, become technically proficient in creating slides, and give an oral presentation in English while using a computer. I think some of them were overwhelmed with all the tasks they had to do. Should knowing how to create a power point presentation on the computer be a part of an English class? Most of the topics (e.g., "Promoting Your Vacation Plans, "Introducing Japan") don't have much to do with academics. And when they did, (the "Discussing Social Issues" presentation on nuclear power) they merely presented one side of the issue. And with a class of 40-odd students, any P to G presentation would take at least two class sessions--meaning two class sessions not spent on the main text (For and Against). In my opinion, "Speaking of Speech" by Harrington & LeBeau (Macmillan) works particularly well.</p> <p>3F. 選んだテキストが使いにくいこと。writing, presentation の準備と、テキストを上手く併用できないこと。テキストが必要なのか。リーディング中心のテキストを選べばよかったと後悔している。</p> <p>3G. 工学部学生には理数的なことを英語で表現する力を付けたかったが、予想以上に学生には教科書が難しかったらしく、なかなか進まず、予定の半分くらいしかできなかった。科学英語を教えるのではなく科学英語に慣れさせる程度のことしかできない。</p> <p>3H. the textbook I selected, "English for Health Sciences". It ended up being a very complex textbook and was difficult for the students to comprehend. My students were mainly studying to be nurses and physical therapists, whereas the textbook seemed to be aimed mostly at doctors.</p> <p><当日の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキストとプレゼンテーションの内容が一致する必要があると思っていた。テキストからトピックを選んで、プレゼンテーションにつなげたらいいのではないか。 ・ 前期だけ、前期と後期にかけてリーディングを導入してはどうか。 ・ 英語 IB では、テキストのターミノロジーが難しく、教員にとっても難しい。 ・ ライティングをしっかり教えたい。プレゼンテーションをさせると暗記が見ながらしか話さず、スピーキングではない。後期はスピーキングにフォーカスすべきである。 ・ Presentation to Go は読みやすいねというだけでもいいのではないか。別に教科書で教えなくてもインターネットを探せば参考になるものは見つかる。学生には調べ物をするときは英語で調べないと助言するべき。 	<p>つけるための指導も行わなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人の教員が一つの教科書で一学期だけ教えらるるとしても、ライティングをしっかりとできるようになるような教科書を導入したい。 ・ トピックに関しては(学部に関連することという)制限を外していきたい。余裕がある教員はブレゼンを教えてもいい。 ・ 教科書については、色々な先生方に意見を聞いて推奨教科書を増やしていく予定。 ・ 1学期、1教員、1テキストで検討する。 ・ Presentations to Go は必修ではなく、テキストの1冊にする方向で検討する。
---	---

4. [それ以外]

<p><当日の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産学部の下レベルは、英語を使いたいのが、書かせたり話せたりするとめっちゃくちゃである。 ・逐次訳させたり、短い英文を書かせたりして、インプット6割、アウトプット4割で教えた。 ・グループワーク、プレゼンテーションをグループで作り上げる際に、日本語が使用される。これは避けられない現実である。そのため、興味のあるトピックを選んだら自ずと英語を使用するようになるのではないか。 ・前のカリキュラムに戻るのではなく、別のカリキュラムを考えてほしい。例えば作った原稿を読むというのは ORAL ではないので、プレゼンテーションは ORAL ではない。 ・プレゼンテーションに固執しすぎず、show and tell などでもできるので、flexibility を持って授業を進めてもらいたい。 ・テキストは参考文献として使用したらいけないのではないか。 ・シラバスと目的が一致できない。 ・シラバスを変更する必要がある。 ・シラバスをシンプルにし、自由度を持たせてほしい。 ・1人の教員が1人のクラスを通年で担当することは可能なのか。 ・前期と後期で担当クラスが変わる場合、学生の名前を覚えられない。また、学生も授業のルーティーンに慣れたところに担当者が変わるので、大変ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスを見直す。 ・CEFR-J を利用し、自立した学習者へ導けるように、内容を各教員が判断する。 ・1年間に1冊のテキスト使用については、後期の様子を見た上で、変更・判断などをしたらいけないか。 ・カリキュラムについては、まずは前期でライティングの指導を行いたい。H3 など到達度の低いクラスでは文法も指導をしていく必要があるが、必要に応じてライティングとスピーキングを一緒に指導していく。 ・時間割の関係上、難しい。
--	--

平成28年度 第2回教員ワークショップ事後アンケート(13名分)

3. このワークショップに参加して、何が得られましたか。

- ・見たことがないテキストを紹介してもらったので、助かりました。同じような教え方をしている先生も多くて、自分の教え方もこれで大丈夫かもしれないと感じた。
- ・各セッションの時間短い。最低30分～40分
- ・移動時間(数分)も別に設ける。
- ・準備物(事務用意 ホワイトボード/メモ用紙/ポストイット etc.) を活用する。
- ・開催日時: 少しずらす(前期、後期 exam の翌週は同じ)
- ・メモ用紙は不要
- ・新しい教授法を知ることができた。なかなかよい解決法がない、課題ということが分かった。
- ・Reading テキストの使い方・利用法、speaking を促すアクティビティーについて、writing の効果的な添削方法
- ・特になし、楽しく参加できていたけど。
- ・他の先生のクラスでの工夫やヒントが聞け、春学期からの授業で参考にしたいと思います。
- ・他の先生も同じようなことで、悩んでいることがわかりました。
- ・Very informative! We should have more. Concerning students with disabilities, if possible, we need to discover a way to help these students earlier in the academic year.
- ・I think we need more time for the discussions. Maybe we should change groups just twice and have longer discussions.
- ・I got some useful points from other teachers about listening and presentation lessons.
- ・英語科目のいろいろな課題や解決方法を聞くことができた。ほかの方が行っている取り組みを取り入れたいと思った。
- ・I could feel much enthusiasm of the instructors.
- ・It was simply nice to get to know other teachers. I got some useful teaching tips from them.

4. 本日の企画に対するご意見や、今後、取り上げてほしいテーマ等がありましたら、自由にお書き下さい。

- ・多くの具体例を教えてほしい。少し、セッションの時間が短かった。
- ・各セッションの時間を長くし、セッション数を減らすとより有意義なものになると思います。
- ・The work shops were good, but maybe more time would have been nice.
- ・Good themes this time.
- ・Possible discussion themes—Evaluation, Portfolio.

鹿児島大学 平成 28（2016）年度共通教育 英語教育活動報告書
平成 29（2017）年 9 月 30 日発行

編集・発行：鹿児島大学 総合教育機構 共通教育センター 外国語教育部門（既修語系）
Nevara, John*、金岡 正夫*、高橋 玄一郎*、原 隆幸*、村山 陽平*、
Tremarco, John、Brasier, Anne、藏本 真衣、日高 佑郁 (*編集)

〒890-0065 鹿児島県 鹿児島市 郡元 1 丁目-21-30
TEL: 099-285-3705
